

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	保健体育1			教員種別	非常勤	
				担当教員氏名		与儀 幸朝
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活		履修学年	1 年	
講義予定時間	曜日	～	時限目	学期	前期	
				単位数	2	
講義形態					授業形態	講義
一般目標 (GIO)	本講義は、「健康」をテーマとして、その基本概念や現状と課題、健康づくりに必要な運動、栄養、休養などの観点から望ましいライフスタイルの在り方について学習する。					
行動目標 (SBOs)	①日常生活における健康の重要性について認識を深める。 ②健康を阻害する要因について理解する。 ③健康管理の意識を高め、実践する態度を身につける。					
授 業 計 画	第1回	オリエンテーション、健康問題				
	第2回	健康の捉え方				
	第3回	健康の決定要因				
	第4回	健康の現状				
	第5回	健康とスポーツ				
	第6回	健康と睡眠				
	第7回	健康と栄養				
	第8回	健康増進対策				
	第9回	健康と食事、中間テスト実施				
	第10回	健康の評価				
	第11回	生活習慣病の予防				
	第12回	感染症の予防				
	第13回	健康管理の実際				
	第14回	情報処理と活用				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	適宜プリントを配付					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	保健体育2			教員種別	非常勤	履修学年	1 年
				担当教員氏名		與儀 幸朝	学 期
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活			単位数	2	
講義予定時間	曜日	～	時限目	與儀 幸朝		授業形態	講義
一般目標 (GIO)	本講義は「運動」をテーマとして、実践する際の人体機能の構造やそれに伴う体力の変化、目的に応じたトレーニング方法などの観点から運動特性について学習する。						
行動目標 (SBOs)	①筋肉の種類と役割及びその構造について認識を深める。 ②運動強度とエネルギー供給系について理解する。 ③目的に応じたトレーニング方法について説明できる。						
授 業 計 画	第1回	オリエンテーション、運動の概念					
	第2回	筋肉の構造とエネルギー代謝					
	第3回	筋疲労の要因					
	第4回	体力・運動能力①					
	第5回	体力・運動能力②					
	第6回	身体組成と肥満①					
	第7回	身体組成と肥満②					
	第8回	運動と脂肪燃焼					
	第9回	運動と栄養、中間試験					
	第10回	体力トレーニング					
	第11回	運動処方					
	第12回	運動の適時性と適刺激					
	第13回	スポーツ障害					
	第14回	情報処理と活用					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	適宜プリントを配付						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	医学英語1			教員種別	非常勤	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活		樋口 晶彦	学 期	前期
講義予定時間	令和5年8月中旬頃				単位数	2
一般目標 (GIO)	医療系学生に必要な英語を実際に経験しそうなリスニングと会話と共通のリーディングを通して、理解を伴った知識・表現の定着を目標とする。必要な英語力を基礎から総合的に養成する。					
行動目標 (SBOs)	①医学英語の基礎的な内容(対話・語句・症状・痛み・薬・読解)を理解できる。					
授 業 計 画	第1回	講義の概要 Unit 1 May I Help You ?				
	第2回	Unit 1 読解文 Writing challenges				
	第3回	小テスト1 Unit 2 会話 More Expressions				
	第4回	Unit 2 読解文 Writing challenges				
	第5回	小テスト2 Unit 3 会話 More Expressions				
	第6回	Unit 3 読解文 Writing challenges				
	第7回	小テスト3 Unit 4 会話 More Expressions				
	第8回	Unit 4 読解文 Writing challenges				
	第9回	小テスト4 Unit 5 会話 More Expressions				
	第10回	Unit 5 読解文 Writing challenges				
	第11回	Unit 6 会話 More Expressions				
	第12回	Review Unit 6 読解文 Writing challenges				
	第13回	Unit 7 会話文 More Expressions				
	第14回	Review Unit 7 読解文 Writing challenges				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	看護英語への総合的アプローチ—First Aid! (金星堂)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	医学英語2			教員種別	非常勤	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活		樋口 晶彦	学期	後期
講義予定時間	令和6年2月頃				単位数	2
講義形態	講義					
一般目標 (GIO)	医療系学生に必要な英語を実際に経験しそうなリスニングと会話と共通のリーディングを通して、理解を伴った知識・表現の定着を目標とする。必要な英語力を基礎から総合的に養成する。					
行動目標 (SBOs)	①泌尿器系に関する医学英語の基礎的な内容を理解できる。 ②呼吸器系に関する医学英語の基礎的な内容を理解できる。 ③骨格・筋肉系に関する医学英語の基礎的な内容を理解できる。 ④内分泌系に関する医学英語の基礎的な内容を理解できる。					
授 業 計 画	第1回	Unit 8 会話 More Expressions				
	第2回	Unit 8 読解文 Writing challenges 小テスト1				
	第3回	Unit 9 会話 More Expressions				
	第4回	Unit 9 読解文 Writing Expressions , challenges				
	第5回	Unit 10 会話 More Expressions 小テスト2				
	第6回	Unit 10 読解文 Writing challenges				
	第7回	Unit 11 会話文 More Expressions				
	第8回	Unit 11 読解文 Writing challenges 小テスト3				
	第9回	Unit 12 会話 More Expressions				
	第10回	Unit 12 読解文 Writing challenges				
	第11回	Unit 13 会話 More Expressions 小テスト4				
	第12回	Unit 13 読解文 Writing challenges				
	第13回	Unit 14 会話 More Expressions				
	第14回	Unit 14 読解文 Writing challenges				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	看護英語への総合的アプローチ—First Aid! (金星堂)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	コミュニケーション学				教員種別	非常勤	
					担当教員氏名		学 期
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活			白井 祐浩	単位数	2
講義予定時間	金 曜日	14:50	～	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	心理学の視点からコミュニケーションに関する基礎的な知識を身に付けるとともに、ワークなどを通して他者との良好なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。						
行動目標 (SBOs)	①心理学の考え方を理解できる。 ②対人援助と集団心理について理解できる。 ③各ワークを通じ、実践的なコミュニケーション能力を身に着ける。						
授 業 計 画	第1回	心理学と心理学の考え方 ～心をどうやって研究するのか～					
	第2回	印象形成と対人関係の築き方 ～良い人間関係をつくるには～					
	第3回	葛藤 ～悩みとのそ解消～					
	第4回	対人援助 ～人を助ける心理と見捨てる心理～					
	第5回	集団心理 ～人が集まると何が起こる?～					
	第6回	ワーク: 夢を語ってエンパワメントを受ける①					
	第7回	ワーク: 夢を語ってエンパワメントを受ける②					
	第8回	偏見とステレオタイプ ～人はなぜ差別をするのか～					
	第9回	ビデオ: 日本一幸せな従業員とは ～多様性を認める世界①～					
	第10回	コミュニケーションエラー ～コミュニケーションがずれる要因～					
	第11回	カウンセリング・マインド ～人を理解するには～					
	第12回	ワーク: 心の花束①					
	第13回	ワーク: 心の花束②					
	第14回	まとめ					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	人間関係論 第3版 (医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。(授業態度:30点 試験:70点) 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	生物学1				教員種別	非常勤	
					担当教員氏名		学 期
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活			川西 基博	単位数	2
講義予定時間	木 曜日	10:40	~	12:10		2 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	分子、細胞・組織レベルの生命現象を中心に解説する。生物体を構成する物質と基本構造に関する知識を得るとともに、動物の体のつくりとしくみについて理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①生物の基本構成について述べるができる。 ②細胞の基本構造について述べるができる。 ③遺伝の法則について述べるができる。 ④動物とヒトの発生について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	生物の定義・生物の種類					
	第2回	生物の系統と進化					
	第3回	細胞を構成する物質					
	第4回	タンパク質の基本構造とはたらき					
	第5回	細胞の基本構造とはたらき 1)核・内膜系					
	第6回	細胞の基本構造とはたらき 2)ミトコンドリア、ゴルジ体、リボソームなど					
	第7回	生体膜の構造と膜を介した物質の輸送					
	第8回	確認試験					
	第9回	動物のからだのつくり					
	第10回	筋組織					
	第11回	神経組織					
	第12回	興奮の伝達・中枢神経					
	第13回	受容器 1)視覚器					
	第14回	受容器 2)聴覚器、味覚器、嗅覚器					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	チャート式 新生物 生物基礎・生物(数研出版)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	生物学2			教員種別	非常勤	履修学年	1 年	
				担当教員氏名		学 期	後期	
授業科目区分	基礎分野	科学的思考の基盤・人間と生活			川西 基博	単位数	2	
講義予定時間	木 曜日	10:40	～	12:10		2 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	遺伝および動物の生活に関する現象を解説する。遺伝情報の発現のメカニズムと遺伝の法則を理解するとともに、動物の配偶子形成と発生に関する知見を修得することを目標とする。							
行動目標 (SBOs)	①遺伝情報の発現メカニズムと遺伝の法則を理解する。 ②動物の配偶子形成と発生にかんする知見を修得する。							
授 業 計 画	第1回	形質と遺伝子						
	第2回	DNAの構造						
	第3回	遺伝情報						
	第4回	DNAの複製と細胞分裂						
	第5回	遺伝情報の発現						
	第6回	生殖						
	第7回	確認試験						
	第8回	遺伝の法則						
	第9回	二遺伝子雑種						
	第10回	遺伝子のはたらきあい						
	第11回	遺伝子の連鎖、伴性遺伝						
	第12回	配偶子形成						
	第13回	動物の発生						
	第14回	発生のしくみ						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	チャート 新生物【生物基礎・生物】(数研出版)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	解剖学1			教員種別	専任		
				担当教員氏名		溝口 弘敏	
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			履修学年	1 年	
講義予定時間	金 曜日	10:40	~	12:10	1 時限目	学 期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	人体を構成する基本的な組織を理解し、各疾患の機序を推測できるようにする。 運動器系における骨格・関節・靭帯の基本構造について理解することにより、運動器疾患の機序を推測できるようにする。						
行動目標 (SBOs)	①人体を構成する組織の種類、役割を挙げることができる。 ②全身の基本骨格、主要関節、主要靭帯の名称を挙げることができる。 ③主要関節の形状と構造的な運動の仕組みを理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	組織と器官①:上皮組織、支持組織、器官					
	第2回	組織と器官②:上皮組織、支持組織、器官					
	第3回	組織と器官③:上皮組織、支持組織、器官					
	第4回	運動器系①:解剖学的用語、骨の構造と機能、関節の構造と機能					
	第5回	運動器系②:解剖学的用語、骨の構造と機能、関節の構造と機能					
	第6回	運動器系③:解剖学的用語、骨の構造と機能、関節の構造と機能					
	第7回	全身の基本骨格①:脊柱の構成(頸椎、胸椎、腰椎、仙骨、尾骨)					
	第8回	全身の基本骨格②:胸郭(胸骨、肋骨の形状)、上肢帯(肩甲骨・鎖骨の形状)、自由上肢(上腕骨)					
	第9回	全身の基本骨格③:自由上肢(橈骨、尺骨、手根骨、指骨)、上肢の関節と靭帯					
	第10回	全身の基本骨格④:骨盤(仙骨、寛骨の構成)					
	第11回	全身の基本骨格⑤:自由下肢の骨(大腿骨、脛骨、腓骨)					
	第12回	全身の基本骨格⑥:自由下肢の骨(足根骨、趾骨)、下肢の関節と靭帯					
	第13回	全身の基本骨格⑦:頭蓋骨の構成①(脳頭蓋を構成する骨)					
	第14回	全身の基本骨格⑧:頭蓋骨の構成②(顔面頭蓋を構成する骨)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド、全身骨格模型 参考図書:プロメテウスアトラス(運動器) 第3版(医学書院)、解剖学講義 第3版(南山堂)、カラーアトラス						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	解剖学2			教員種別	専任		
				担当教員氏名		溝口 弘敏	
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			履修学年	1 年	
講義予定時間	火 曜 日	14:50	~	16:20	4 時限目	学期	後期
						単位数	1
講義予定時間						授業形態	講義
一般目標 (GIO)	ヒトの体を構成する組織・臓器の部位や名称を系統的に正確に使えることを学習の目標とする。						
行動目標 (SBOs)	(1)骨格筋の起始・停止・支配神経・作用が理解できる。 (2)あはき師として刺鍼に必要な局所解剖の内容が理解できる。						
授 業 計 画	第1回	筋の概要(筋の付着、骨格筋の形、筋の神経支配、筋の補助装置、筋の作用と運動)					
	第2回	上肢の筋(上肢帯の筋について)					
	第3回	上肢の筋(上腕の筋:屈筋・伸筋について)					
	第4回	上肢の筋(前腕の筋①:浅層の屈筋群、深層の屈筋群について)					
	第5回	上肢の筋(前腕の筋②:浅層の伸筋群、深層の伸筋群、手内筋:母指球筋、小指球筋、中手筋について)					
	第6回	上肢の筋(上肢の局所解剖:神経走行、構造の特徴)					
	第7回	下肢の筋(下肢帯の筋について)					
	第8回	下肢の筋(大腿の筋:屈筋・伸筋について)					
	第9回	下肢の筋(下腿の筋:屈筋・伸筋について、足部の筋について)					
	第10回	下肢の筋(下肢の局所解剖:神経走行、構造の特徴)					
	第11回	体幹の筋(胸筋、腹筋、会陰筋、背筋について)					
	第12回	体幹の筋(体幹の局所解剖:神経走行、構造の特徴)					
	第13回	頭頸部の筋(表情筋、咀嚼筋、頸部の筋について、頭頸部の体表解剖・局所解剖)					
	第14回	頭頸部の筋(頭部の末梢神経:脳神経の走行について)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド 参考図書:プロメテウスアトラス(運動器)第3版(医学書院)、解剖学講義第3版(南山堂)、カラーアトラス						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	解剖学3			教員種別	専任		
				担当教員氏名		学期	1 年 後期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			単位数	1	
講義予定時間	月 曜日	14:50	～	16:20	4 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	ヒトの体を構成する組織・臓器の部位や名称を系統的に学習し、正確に使えることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①循環器系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。 ②泌尿器系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。 ③生殖器系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。						
授 業 計 画	第1回	循環器系の概要					
	第2回	循環器系①(血管の基本構造)					
	第3回	循環器系②(心臓の基本構造、体幹の動脈と静脈)					
	第4回	循環器系③(上肢・下肢の動脈と静脈)					
	第5回	循環器④(脳に分布する動脈と静脈)					
	第6回	循環器系⑤(胎児循環 リンパ系)					
	第7回	泌尿器の概要					
	第8回	泌尿器系①(腎臓の肉眼構造)					
	第9回	泌尿器系②(腎臓の組織構造)					
	第10回	泌尿器系③(膀胱の構造・尿路)					
	第11回	生殖器系の概要					
	第12回	生殖器系①(男性生殖器)					
	第13回	生殖器系②(女性生殖器)					
	第14回	生殖器系③(受精と発生)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 解剖生理(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド 参考図書: 解剖学講義 第3版(南山堂)、イラスト解剖学 第9版(中外医学社)、新解剖学 Qシリーズ(日本医事新報社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	解剖学4			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			村瀬 健太郎	単位数	1
講義予定時間	木 曜日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	ヒトの体を構成する組織・臓器の部位や名称を系統的に学習し、正確に使えることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①消化器系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。 ②呼吸器系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。 ③内分泌系の肉眼構造と組織構造について説明することができる。						
授 業 計 画	第1回	内臓総論(実質性臓器と中空性臓器)					
	第2回	消化器系の概要(消化管の順路と各部位の上皮組織について)					
	第3回	消化器系①(口腔、唾液腺、舌、食道)					
	第4回	消化器系②(胃、十二指腸、膵臓)					
	第5回	消化器系③(小腸、大腸)					
	第6回	消化器系④(肝臓、胆嚢、腹膜)					
	第7回	呼吸器系の概要					
	第8回	呼吸器系①(鼻腔、副鼻腔)					
	第9回	呼吸器系②(気管、気管支)					
	第10回	呼吸器系③(肺組織)					
	第11回	内分泌系の概要					
	第12回	内分泌系①(下垂体、松果体)					
	第13回	内分泌系②(甲状腺、副甲状腺)					
	第14回	内分泌系③(副腎、膵臓、性腺)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド 参考図書:解剖学講義 第3版(南山堂)、イラスト解剖学 第9版(中外医学社)、 新解剖学 Qシリーズ(日本医事新報社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	解剖学5			教員種別	専任	履修学年	1 年	
				担当教員氏名		学 期	前期	
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			村瀬 健太郎	単位数	1	
講義予定時間	木 曜日	14:50	～	16:20		4 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	ヒトの体を構成する組織・臓器の部位や名称を系統的に正確に使えることを学習の目標とする。							
行動目標 (SBOs)	①神経の基本構成について述べるができる。 ②脳、脊髄の構成や末梢神経の走行について述べるができる。							
授 業 計 画	第1回	神経系の基本構成①(神経細胞、神経軸索)						
	第2回	神経系の基本構成②(神経膠細胞)						
	第3回	神経系の分類①(中枢神経系について)						
	第4回	神経系の分類②(末梢神経系について)						
	第5回	神経系の分類(自律神経系について)						
	第6回	中枢神経系の構造と機能①						
	第7回	中枢神経系の構造と機能②						
	第8回	中枢神経系の構造と機能③						
	第9回	末梢神経系の構成と機能①						
	第10回	末梢神経系の構成と機能②						
	第11回	末梢神経系の構成と機能③						
	第12回	自律神経系の構成と機能①						
	第13回	自律神経系の構成と機能②						
	第14回	自律神経系の構成と機能③						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	解剖生理 東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)、プリント資料、パワーポイント							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	解剖学6			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			村瀬 健太郎	単位数	1
講義予定時間	月 曜日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	ヒトの体を構成する組織・臓器の部位や名称を系統的に正確に使えることを学習の目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①中枢、骨格筋の働きについて述べるができる。 ②感覚器、運動の調節について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	神経系の構成					
	第2回	中枢神経系					
	第3回	脊 髄					
	第4回	中 脳					
	第5回	小 脳					
	第6回	間 脳					
	第7回	大脳辺縁系					
	第8回	伝導路					
	第9回	末梢神経系					
	第10回	自律神経系					
	第11回	視覚器					
	第12回	平衡聴覚器					
	第13回	味覚器					
	第14回	嗅覚器					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理 (医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド 参考図書:解剖学講義 第3版(南山堂)、イラスト解剖学 第9版(中外医学社)、 新解剖学 Qシリーズ(日本医事新報社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	生理学1			教員種別	専任		
				担当教員氏名		濱上 裕基	
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			履修学年	1 年	
講義予定時間	水 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目	学期	前期
						単位数	1
講義形態						授業形態	講義
一般目標 (GIO)	身体の様々な働き方がどんな機序に基づいているか、その仕組を学ぶのを目的としている。生体の正常な働きや生命現象の基本機構を理解する。						
行動目標 (SBOs)	①人体の構成する細胞、体液と恒常性について説明できる。 ②心臓血管系、血液と免疫の働きについて説明できる。 ③呼吸器系の働き、呼吸とその調節について説明できる。						
授 業 計 画	第1回	第1章:生理学の基礎					
	第2回	第1章:生理学の基礎					
	第3回	第5章:循環系					
	第4回	第5章:循環系					
	第5回	第5章:循環系					
	第6回	第5章:循環系					
	第7回	第6章:血液と免疫					
	第8回	第6章:血液と免疫					
	第9回	第6章:血液と免疫					
	第10回	第6章:血液と免疫					
	第11回	第7章:呼吸					
	第12回	第7章:呼吸					
	第13回	第7章:呼吸					
	第14回	第7章:呼吸					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:生理学 第3版 東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) 解剖生理学 東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) からだがみえる 人体の構造と機能 第1版 医療情報科学研究所 編(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	生理学2			教員種別	専任	
				担当教員氏名		学期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	13:10	~	14:40	3 時限目	村瀬 健太郎 授業形態 講義
一般目標 (GIO)	人体生理学における物質代謝、体温調節、消化器系・泌尿器系の働きを理解することにより、同機能の障害による疾患の機序を推測できるようにする。					
行動目標 (SBOs)	①消化器系の機能と他器官との機能的連携について理解する。 ②体内に吸収された栄養素の代謝過程を理解し、過不足によって発症する疾患名を挙げられるようにする。 ③体温調節機構を理解し、気候馴化について説明できるようにする。 ④泌尿器系の機能と他器官との機能的連携について理解する。					
授 業 計 画	第1回	第4章:消化と吸収(消化管総論、口腔)				
	第2回	第4章:消化と吸収(胃の構造と機能)				
	第3回	第4章:消化と吸収(膵臓および胆嚢の構造と機能)				
	第4回	第4章:消化と吸収(小腸および大腸の構造と機能)				
	第5回	第4章:消化と吸収(肝臓の構造と機能)				
	第6回	第7章:排泄(泌尿器総論、腎循環)				
	第7回	第7章:排泄(尿生成①)				
	第8回	第7章:排泄(尿生成②)				
	第9回	第7章:排泄(体液の調節)				
	第10回	第7章:排泄(蓄尿と排尿)				
	第11回	第5章:代謝(代謝総論、糖代謝、脂質代謝)				
	第12回	第5章:代謝(蛋白質代謝、ビタミン・ミネラル代謝)				
	第13回	第6章:体温(体温調節総論、産熱)				
	第14回	第6章:体温(熱放散、発汗)				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理(医歯薬出版株式会社) 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、ガイ-ton生理学(エルゼビア・ジャパン) 標準生理学(医学書院)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	生理学3			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		村瀬 健太郎	学 期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			単位数	1	
講義予定時間	火 曜 日	13:10	~	14:40	3 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	身体のような働き方がどんな機序に基づいているか、その仕組みを学ぶのを目的としている。生体の正常な働きや生命						
行動目標 (SBOs)	①内分泌の働きについて述べるができる。 ②生殖と成長について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	第10章 内分泌					
	第2回	第10章 内分泌					
	第3回	第10章 内分泌					
	第4回	第10章 内分泌					
	第5回	第10章 内分泌					
	第6回	第10章 内分泌					
	第7回	第10章 内分泌					
	第8回	第11章 生殖・成長と老化					
	第9回	第11章 生殖・成長と老化					
	第10回	第11章 生殖・成長と老化					
	第11回	第11章 生殖・成長と老化					
	第12回	第11章 生殖・成長と老化					
	第13回	第11章 生殖・成長と老化					
	第14回	第11章 生殖・成長と老化					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	解剖生理 東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)、プリント資料、パワーポイント						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	生理学4			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		村瀬 健太郎	学 期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			単位数	1	
講義予定時間	木 曜日	13:10	~	14:40	3 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	身体の様々な働き方がどんな機序に基づいているか、その仕組みを学ぶのを目的としている。生体の正常な働きや生命現象の基本機構を理解する。						
行動目標 (SBOs)	①神経細胞の働きについて述べるができる。 ②脳、脊髄のはたらきや末梢神経の機能について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	神経系とは					
	第2回	ニューロンの構造と働き					
	第3回	神経線維の興奮と伝導					
	第4回	興奮の伝達					
	第5回	末梢神経系					
	第6回	中枢神経系					
	第7回	脊 髄					
	第8回	脳					
	第9回	自律神経系の特徴					
	第10回	自律神経系の伝達物質と受容体					
	第11回	自律神経の中樞					
	第12回	視床下部					
	第13回	大脳辺縁系					
	第14回	自律神経反射					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	解剖生理 東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)、プリント資料、パワーポイント						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	生理学5			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			村瀬 健太郎	単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	14:50	~	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	身体の様々な働き方がどんな機序に基づいているか、その仕組みを学ぶのを目的としている。生体の正常な働きや生命現象の基本機構を理解する。						
行動目標 (SBOs)	①感覚器の働きについて述べるができる。 ②生体の防御機構について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	第4章 感覚器系 感覚の一般的性質					
	第2回	視覚					
	第3回	視覚伝導路					
	第4回	聴覚					
	第5回	平衡感覚					
	第6回	味覚					
	第7回	嗅覚					
	第8回	体性感覚					
	第9回	内臓感覚					
	第10回	痛覚					
	第11回	第6章 生体防御機構					
	第12回	白血球					
	第13回	液性因子					
	第14回	ホメオスタシス					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	解剖生理 東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)、プリント資料、パワーポイント						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	運動学			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		村瀬 健太郎	学 期
授業科目区分	専門基礎分野	人体の構造と機能			単位数	1	
講義予定時間	火 曜 日	13:10	~	14:40	3 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	身体の様々な働き方がどんな機序に基づいているか、その仕組みを学ぶのを目的としている。生体の正常な働きや生命現象の基本機構を理解する。						
行動目標 (SBOs)	①骨格筋の働きについて述べるができる。 ②運動の調節について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	骨格筋の構造と働き					
	第2回	筋の収縮の仕組み					
	第3回	筋のエネルギー供給の仕組み					
	第4回	心筋と平滑筋の構造と働き					
	第5回	骨格筋の神経支配					
	第6回	神経筋接合部					
	第7回	筋紡錘と腱受容器					
	第8回	運動の調節					
	第9回	脊 髄					
	第10回	脳 幹					
	第11回	小 脳					
	第12回	大脳基底核					
	第13回	大脳皮質					
	第14回	錐体路と錐体外路					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理 (医歯薬出版株式会社)、配付プリント、PowerPointスライド						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	病理学1			教員種別	非常勤		
				担当教員氏名		吉田 浩己	
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			履修学年	1 年	
講義予定時間	金 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	後期	
						単位数	1
一般目標 (GIO)	疾病の成り立ちと原因を理解する。					授業形態	講義
	行動目標 (SBOs)	①病因の定義、種類、特徴について述べるができる。 ②循環障害の分類、特徴、進行について述べるができる。 ③退行性病変の分類、疾患について述べるができる。 ④進行性病変の分類、疾患について述べるができる。					
授 業 計 画		第1回	第1章 病理学とはどのような学問か／第2章 疾病(病気)についての基本的考え方①				
	第2回	第2章 疾病(病気)についての基本的考え方②					
	第3回	第3章 病因(内因)					
	第4回	第3章 病因(外因)					
	第5回	第4章 循環障害①(充血・うっ血)					
	第6回	第4章 循環障害②(貧血・虚血)					
	第7回	第4章 循環障害③(出血・血栓症・梗塞)					
	第8回	第4章 循環障害④(水腫・浮腫・脱水症・ショック)					
	第9回	第5章 退行性病変①(萎縮)					
	第10回	第5章 退行性病変②(変性)					
	第11回	第5章 退行性病変③(壊死と死)					
	第12回	第6章 進行性病変①(肥大と増殖)					
	第13回	第6章 進行性病変②(再生、化生)					
	第14回	第6章 進行性病変③(移植、創傷治癒・組織内異物の処理)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	病理学概論 第2版(医歯薬出版)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	病理学2			教員種別	非常勤	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			吉田 浩己	単位数	1
講義予定時間	金 曜日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	疾病の成り立ちと原因を理解する。						
行動目標 (SBOs)	①炎症の定義、種類、経過について述べるができる。 ②腫瘍の分類、特徴、進行について述べるができる。 ③免疫異常・アレルギーの機序、分類、疾患について述べるができる。 ④先天性疾患について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	第7章 炎症①(炎症の一般)					
	第2回	第7章 炎症②(炎症の分類)					
	第3回	第8章 腫瘍①(腫瘍の一般:腫瘍の形態と構造、腫瘍細胞の特色、腫瘍の組織学)					
	第4回	第8章 腫瘍②(腫瘍の一般:腫瘍の発生と諸段階、腫瘍の発生原因、治療と再発)					
	第5回	第8章 腫瘍③(良性腫瘍:上皮性良性腫瘍、非上皮性良性腫瘍)					
	第6回	第8章 腫瘍④(悪性腫瘍:癌、肉腫)					
	第7回	第9章 免疫異常・アレルギー(液性免疫と細胞性免疫①)					
	第8回	第9章 免疫異常・アレルギー(液性免疫と細胞性免疫②)					
	第9回	第9章 免疫異常・アレルギー(アレルギー:I型アレルギー、II型アレルギー、III型アレルギー)					
	第10回	第9章 免疫異常・アレルギー(アレルギー:IV型アレルギー、V型アレルギー)					
	第11回	第9章 免疫異常・アレルギー(免疫不全:先天性免疫不全、後天性免疫不全、自己免疫異常)					
	第12回	第10章 先天性異常(先天性異常総論)					
	第13回	第10章 先天性異常(遺伝性疾患)					
	第14回	第10章 先天性異常(染色体異常)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	病理学概論 第2版(医歯薬出版)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	臨床医学総論1				教員種別	専任	
					担当教員氏名		溝口 弘敏
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			学期	前期	
講義予定時間	火 曜 日	10:40	~	12:10	2 時限目	単位数	1
一般目標 (GIO)	臨床に必要な診察および治療に関する医学的知識ならびに技能(患者の臨床心理を含む)について学習する。そして、確かな病態把握を行い患者へ診療の場において適切な応用ができることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①医療面接の意義を理解し、病態把握に必要な項目をあげることができるようにする。 ②診療録の意義を理解し、記録しなければならない項目をあげることができるようになる。 ③生命徴候を理解し、当該項目をあげることができるようになる。 ④全身に表れる様々な変化を視覚的にとらえ、その意味を理解し、疾患を推測できるようになる。						
授 業 計 画	第1回	生命徴候(バイタルサインの診察①)					
	第2回	生命徴候(バイタルサインの診察②)					
	第3回	生命徴候(バイタルサインの診察③)					
	第4回	全身の診察(顔色、精神状態)					
	第5回	全身の診察(言語、身体計測)					
	第6回	全身の診察(姿勢と体位)					
	第7回	全身の診察(歩行)					
	第8回	全身の診察(皮膚、粘膜、皮下組織)					
	第9回	全身の診察(爪の状態、リンパ節)					
	第10回	全身の診察(その他の一般的症状)					
	第11回	診察の概要①					
	第12回	診察の概要②					
	第13回	診察の方法①(病歴聴取)					
	第14回	診察の方法②(病歴聴取)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学総論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床医学総論2			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			溝口 弘敏	単位数	1
講義予定時間	水曜日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	臨床に必要な診察および治療に関する医学的知識ならびに技能(患者の臨床心理を含む)について学習する。そして、確かな病態把握を行い患者へ診療の場において適切な応用ができることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①中枢神経系の障害による症状を理解し、適切な検査法を選択することができるようにする。 ②末梢神経系の障害による症状を理解し、適切な検査法を選択することができるようにする。 ③運動機能障害による症状を理解し、適切な検査法を選択することができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	第6章 神経系の診察(感覚検査法①)					
	第2回	第6章 神経系の診察(感覚検査法②)					
	第3回	第6章 神経系の診察(反射検査①)					
	第4回	第6章 神経系の診察(反射検査②)					
	第5回	第6章 神経系の診察(脳神経系の検査)					
	第6回	第6章 神経系の診察(髄膜刺激症状検査、高次脳機能検査)					
	第7回	第7章 運動機能検査(運動麻痺の分類、運動神経障害)					
	第8回	第7章 運動機能検査(筋肉の異常)					
	第9回	第7章 運動機能検査(不随意運動)					
	第10回	第7章 運動機能検査(協調運動)					
	第11回	第7章 運動機能検査(起立と歩行)					
	第12回	第7章 運動機能検査(関節可動域検査)					
	第13回	第7章 運動機能検査(徒手筋力検査)					
	第14回	第7章 運動機能検査(徒手による整形外科的検査法)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学総論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院) DVDで学ぶ運動器徒手検査法(南江堂)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床医学各論1			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		担当教員氏名	
	溝口 弘敏			学 期	前期
講義予定時間	水 曜日	14:50	～	16:20	4 時限目
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。				
	行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げることができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げることができるようにする。			
授 業 計 画	第1回	関節炎、五十肩			
	第2回	変形性関節症			
	第3回	骨粗鬆症、くる病・骨軟化症			
	第4回	骨腫瘍、筋炎・筋膜炎、腱鞘炎			
	第5回	重症筋無力症、発育性股関節形成不全			
	第6回	筋性斜頸、側彎症、外反母趾、内反足			
	第7回	椎間板ヘルニア			
	第8回	後縦靭帯骨化症、脊椎分離症・脊椎すべり症			
	第9回	変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、腰痛症			
	第10回	頸椎捻挫・むちうち損傷、脊髄損傷			
	第11回	骨折、脱臼、捻挫			
	第12回	スポーツ外傷・傷害			
	第13回	胸郭出口症候群、頸腕症候群・頸肩腕症候群			
	第14回	ガングリオン、手根管症候群			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書: 病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床医学各論2			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	9:00	～	10:30	1 時限目
授業形態					講義
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。				
行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げることができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げることができるようにする。				
授 業 計 画	第1回	歯周病、顎関節症、その他の口腔疾患、食道癌			
	第2回	食道炎・食道潰瘍、その他の食道疾患、胃炎、胃・十二指腸潰瘍			
	第3回	胃癌、その他の胃・十二指腸疾患、急性腸炎、潰瘍性大腸炎			
	第4回	クローン病、過敏性腸症候群、虫垂炎			
	第5回	大腸癌、腸閉塞、その他の腸疾患			
	第6回	急性腹膜炎、結核性腹膜炎、癌性腹膜炎			
	第7回	急性肝炎、慢性肝炎			
	第8回	薬物性肝障害、アルコール性肝障害、肝硬変、肝癌、その他の肝疾患			
	第9回	胆石・胆嚢炎、胆嚢癌・総胆管癌、その他の胆嚢疾患			
	第10回	急性膵炎、慢性膵炎、膵癌			
	第11回	上気道炎、急性気管支炎			
	第12回	肺炎、肺結核、肺気腫			
	第13回	慢性気管支炎、気管支喘息、特発性肺線維症			
	第14回	気胸、肺癌、気管支拡張症			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書: 病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床医学各論3			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		履修学年	3 年
講義予定時間	水 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。				
行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げることができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げることができるようにする。				
授 業 計 画	第1回	第9章 循環器疾患(心臓疾患①)			
	第2回	第9章 循環器疾患(心臓疾患②)			
	第3回	第9章 循環器疾患(冠動脈疾患)			
	第4回	第9章 循環器疾患(動脈疾患、血圧異常)			
	第5回	第13章 その他の領域(小児疾患、一般外科)			
	第6回	第13章 その他の領域(心肺蘇生術、救急救命法)			
	第7回	第13章 その他の領域(麻酔科)			
	第8回	第13章 その他の領域(婦人科疾患)			
	第9回	第13章 その他の領域(皮膚科疾患)			
	第10回	第13章 その他の領域(眼科疾患)			
	第11回	第13章 その他の領域(耳鼻科疾患)			
	第12回	第13章 その他の領域(精神科疾患)			
	第13回	第13章 その他の領域(心療内科)			
	第14回	第13章 その他の領域(加齢に伴う病態)			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	臨床医学各論4			教員種別	専任	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		溝口 弘敏	学 期	後期
講義予定時間	金 曜日	9:00	～ 10:30		1 時限目	単位数
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。					
行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げるができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げるができるようにする。					
授 業 計 画	第1回	第5章 腎・尿器疾患(原発性糸球体腎炎)				
	第2回	第5章 腎・尿器疾患(急性腎臓病、慢性腎臓病)				
	第3回	第5章 腎・尿器疾患(感染症、腫瘍性疾患)				
	第4回	第5章 腎・尿器疾患(結石症、前立腺疾患)				
	第5回	第6章 内分泌疾患(下垂体疾患①)				
	第6回	第6章 内分泌疾患(下垂体疾患②)				
	第7回	第6章 内分泌疾患(甲状腺疾患①)				
	第8回	第6章 内分泌疾患(甲状腺疾患②)				
	第9回	第6章 内分泌疾患(副腎疾患①)				
	第10回	第6章 内分泌疾患(副腎疾患②)				
	第11回	第7章 代謝・栄養疾患(糖尿病)				
	第12回	第7章 代謝・栄養疾患(脂質代謝異常)				
	第13回	第7章 代謝・栄養疾患(尿酸代謝異常)				
	第14回	第7章 代謝・栄養疾患(ビタミン欠乏症)				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	リハビリテーション概論1			教員種別	非常勤	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			川田 将之	単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	リハビリテーションの概要、基本的な知識を修得する。						
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害と参加の分類と評価について述べるができる。 2. 医学的リハビリテーションについての述べるができる。 3. 運動の基礎について理解することができる。 						
授 業 計 画	第1回	リハビリテーションと障害					
	第2回	リハビリテーション医学と医療					
	第3回	障害の評価①					
	第4回	障害の評価②					
	第5回	障害の評価③					
	第6回	医学的リハビリテーション①					
	第7回	医学的リハビリテーション②					
	第8回	医学的リハビリテーション③					
	第9回	運動学の基礎					
	第10回	身体各部の機能①					
	第11回	身体各部の機能②					
	第12回	身体各部の機能③					
	第13回	歩行					
	第14回	総括					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	リハビリテーション医学 第4版(医歯薬出版株式会社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。(修了試験の成績:100%) 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	リハビリテーション概論2			教員種別	非常勤	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進			川田 将之	単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	各疾患のリハビリテーションを理解する。						
行動目標 (SBOs)	各疾患の病態、リハビリテーションの意義、方法を述べる事ができる。						
授 業 計 画	第1回	リハビリテーションの実際					
	第2回	脳卒中のリハビリテーション①					
	第3回	脳卒中のリハビリテーション②					
	第4回	脊髄損傷のリハビリテーション					
	第5回	切断のリハビリテーション					
	第6回	小児のリハビリテーション					
	第7回	骨・関節疾患のリハビリテーション①					
	第8回	骨・関節疾患のリハビリテーション②					
	第9回	骨・関節疾患のリハビリテーション③					
	第10回	関節リウマチのリハビリテーション					
	第11回	末梢神経損傷のリハビリテーション					
	第12回	パーキンソン病のリハビリテーション					
	第13回	呼吸器・心疾患のリハビリテーション					
	第14回	総括					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	リハビリテーション医学 第4版(医歯薬出版株式会社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。(修了試験:100%) 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	衛生学・公衆衛生学1			教員種別	専任
				担当教員氏名	
履修学年	1 年			学期	後期
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	13:10 ~ 14:40	3 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	公衆衛生学の実践は集団の健康を確立することにある。本講では公衆衛生の実践にあたっての基礎的な一般知識を身につけさせることを目的とし、集団としての健康状態を評価する各種の統計指標について解説すると共に、行政的に取り組んでいる健康対策の現状を説明する。				
行動目標 (SBOs)	①衛生学・公衆衛生学の意義を理解し説明できる。 ②健康の定義、健康管理、衛生行政について理解し説明できる。 ③健康に影響を与えるライフスタイルや環境について理解し説明できる。 ④感染症とその対策、消毒法について理解し説明できる。				
授 業 計 画	第1回	環境と健康 環境とは 日常生活環境 物理的・化学的・生物学的環境要因			
	第2回	環境と健康 環境問題 公害問題 地球規模の環境問題			
	第3回	産業保健 産業保健の意義 労働環境と健康及び業務上疾病(職業病)			
	第4回	精神保健 精神の健康と精神障害 精神の健康、精神障害の現状と分類			
	第5回	精神保健 精神の健康と精神障害 精神保健福祉法			
	第6回	母子保健 母子保健の意義 母体の健康及び乳児の健康			
	第7回	母子保健 母体の保護及び少子化問題と子育て支援			
	第8回	学校保健 学校保健の意義 保健教育 保健管理			
	第9回	学校保健 学校感染症 学齢期の健康状態			
	第10回	成人・高齢者保健 成人・高齢者保健の意義 加齢と老化、生活習慣病の特徴			
	第11回	成人・高齢者保健 悪性新生物、心疾患、脳血管障害(高血圧)、糖尿病			
	第12回	成人・高齢者保健 老人保健福祉対策、介護保険			
	第13回	疫学			
	第14回	保健統計			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『衛生学・公衆衛生学 第2版』東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) 『公衆衛生がみえる 2022-2023』医療情報科学研究所 編(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	衛生学・公衆衛生学2			教員種別	専任	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	専門基礎分野	疾病の成り立ちとその予防及び回復の促進		濱上 裕基	学 期	後期
講義予定時間	月 曜日	10:40	～ 12:10		2 時限目	単位数
一般目標 (GIO)	公衆衛生学の実践は集団の健康を確立することにある。本講では公衆衛生の実践にあたっての基礎的な一般知識を身につけさせることを目的とし、集団としての健康状態を評価する各種の統計指標について解説すると共に、行政的に取り組んでいる健康対策の現状を説明する。					
行動目標 (SBOs)	①環境と健康、産業保健、精神保健について理解し、説明できる。 ②母子保健、学校保健、成人・高齢者保健について理解し、説明できる。 ③疫学、保健統計について理解し、説明できる。					
授 業 計 画	第1回	環境と健康 環境とは 日常生活環境 物理的・化学的・生物学的環境要因				
	第2回	環境と健康 環境問題 公害問題 地球規模の環境問題				
	第3回	産業保健 産業保健の意義 労働環境と健康及び業務上疾病(職業病)				
	第4回	精神保健 精神の健康と精神障害 精神の健康、精神障害の現状と分類				
	第5回	精神保健 精神の健康と精神障害 精神保健福祉法				
	第6回	母子保健 母子保健の意義 母体の健康及び乳児の健康				
	第7回	母子保健 母体の保護及び少子化問題と子育て支援				
	第8回	学校保健 学校保健の意義 保健教育 保健管理				
	第9回	学校保健 学校感染症 学齢期の健康状態				
	第10回	成人・高齢者保健 成人・高齢者保健の意義 加齢と老化、生活習慣病の特徴				
	第11回	成人・高齢者保健 悪性新生物、心疾患、脳血管障害(高血圧)、糖尿病				
	第12回	成人・高齢者保健 老人保健福祉対策、介護保険				
	第13回	疫学				
	第14回	保健統計				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『衛生学・公衆衛生学 第2版』東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) 『公衆衛生がみえる 2020-2021』医療情報科学研究所 編(メディックメディア)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	医療概論			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	保健医療福祉とあん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうり理念			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	月 曜日	14:50	~	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	「医療とは何か」という問いを歴史と文化を軸に考えていく。現代の医療と社会における医療従事者の現状、チーム医療の中での役割を理解する。また、「医療従事者のとるべき態度はどのようなものか」などの倫理に関する現状を説明する。						
行動目標 (SBOs)	①世界の医学の歴史について学び、理解する。 ②現代の日本の医療制度について理解し説明できる。 ③現在のあはき師に求められる役割と倫理観を学び、理解する。						
授 業 計 画	第1回	医学と医療の歴史 医学史とその意義					
	第2回	「医学とは」 歴史文化から見た医療					
	第3回	西洋医学と医療の歴史					
	第4回	西洋医学と医療の歴史					
	第5回	東洋医学と医療の歴史 古代インドの医学					
	第6回	東洋医学と医療の歴史 中国医学					
	第7回	日本の医学と医療の歴史 古代医学					
	第8回	日本の医学と医療の歴史 中世・近世					
	第9回	日本の医学と医療の歴史 近代					
	第10回	現代の医学と医療 現代医学の課題					
	第11回	現代の医学と医療 現代の医療制度 医療と経済					
	第12回	現代の医療制度 医療保険					
	第13回	現代の医療制度 公的医療					
	第14回	医療従事者の倫理 医療・施術者の倫理					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『医療概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『公衆衛生がみえる 2022-2023』 医療情報科学研究所 編 (メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	関係法規				教員種別	専任	履修学年	3 年
					担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門基礎分野	保健医療福祉とあん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうり理念			久木田 和隆	単位数	1	
講義予定時間	木 曜日	9:00	～	10:30		1 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	医療をとりまく状況は変化しつつある。これら変化する医療現場において、自らの業務のあり方を考えるためには、医療の供給を支える施設、それを提供する人に関する制度や業務内容などにつき規定する法規を概観し、医療全体における各法規の位置付けを理解することを目的とする。							
行動目標 (SBOs)	「あはき師」としての法律的、社会的立ち位置を、実際の事案から学ぶことによって理解する							
授 業 計 画	第1回	医療法						
	第2回	医師法 その他の医療従事者に関する法律						
	第3回	薬事法規 地域保健法						
	第4回	母体保護法 学校保健法						
	第5回	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 老人保健法						
	第6回	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律						
	第7回	予防接種法 検疫法						
	第8回	環境衛生関係の法律						
	第9回	社会福祉関係法規						
	第10回	健康保険法 国民健康保険						
	第11回	介護保険 各共済組合法						
	第12回	その他の関係法規1						
	第13回	その他の関係法規2						
	第14回	薬事法規 衛生関係法規 社会保険関係法規の確認						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	関係法規 第7版 (医歯薬出版株式会社)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	職業倫理・社会保障制度概論			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門基礎分野	保健医療福祉とあん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうり理念			溝口 弘敏	単位数	1
講義予定時間	曜日	～	時限目	授業形態		講義	
一般目標 (GIO)	1. 社会保障制度の概要について理解する。 2. 職業倫理について症例やグループワークを通して学び、あはき師について必要な倫理観を養う。						
行動目標 (SBOs)	1. 社会保障の基本的な考え方や制度の種類を列挙することができる。 2. 各制度の対象者や内容を列挙することができる。 3. プロフェッショナルリズムの考え方について説明できる。 4. 看護学生とのロールプレイを通して多職種連携に必要な知識な技術を説明できる。						
授 業 計 画 画	第1回	第1部: 職業倫理(あはき師に必要な基本的倫理観と患者への対応)					
	第2回	第1部: 職業倫理(プロフェッショナルリズム教育について)					
	第3回	第1部: 社会保障(社会保障制度の概要と基本的な考え方)					
	第4回	第2部: 社会保障(医療保障制度、介護保険制度について)					
	第5回	第2部: 社会保障(診療報酬制度、療養費制度について)					
	第6回	第2部: 職業倫理(看護学生とのグループワーク: 多職種連携の意義についての学習シナリオ作成): 合同授業を実施					
	第7回	第2部: 職業倫理(看護学生とのグループワーク: 多職種連携を想定したロールプレイ): 合同授業を実施					
	第8回	修了試験					
	第9回						
	第10回						
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 配布資料、PowerPoint 参考教材: 社会あはき学 第3版 (医歯薬出版株式会社) 医療概論(医道の日本社) 公衆衛生がみえる 2020-2021(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。 最終的な成績評価の内訳は各ロールプレイングの出席で2.5%、修了試験で95%とする。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	東洋医学概論1			教員種別	専任		
				担当教員氏名		伊藤 孝訓	
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			履修学年	1 年	
講義予定時間	月 曜日	10:40	~	12:10	2 時限目	学 期	前期
						単位数	1
講義形態						授業形態	講義
一般目標 (GIO)	東洋医学の起源を知ることで、物事のとらえ方、考え方の特徴を理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①陰陽、五行、気血津液、神における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。 ②陰陽、五行、気血津液、神における考え方を理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	授業ガイダンス、東洋医学の沿革(※東洋医学総論1と並行して授業を実施する。)					
	第2回	東洋医学的な人体の見方					
	第3回	陰陽論・五行論の考え方とその応用					
	第4回	陰陽論・五行論の考え方とその応用					
	第5回	生体物質(気・血・津液・精)と神					
	第6回	気の生理					
	第7回	血の生理					
	第8回	津液の生理					
	第9回	気の病理					
	第10回	血の病理					
	第11回	津液の病理					
	第12回	神の生理と病理					
	第13回	陰陽の生理					
	第14回	陰陽の病理					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学〈基礎編〉(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	東洋医学概論2			教員種別	専任			
				担当教員氏名		伊藤 孝訓		
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			履修学年	1 年		
講義予定時間	木曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	後期		
						単位数	1	
一般目標 (GIO)	東洋医学的な整体観の物事のとらえ方、考え方の特徴を理解することを目標とする。					授業形態	講義	
	東洋医学的にみた心身の正常機能の成り立ちを理解する。							
行動目標 (SBOs)	①五臓六腑における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。							
	②五臓六腑における生理と病理を理解することができる。							
		③東洋医学的な病機、病証について理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	蔵象学説(※東洋医学総論2と並行して授業を実施する。)						
	第2回	肝の生理と病理・関連のある奇恒の腑						
	第3回	心の生理と病理・関連のある奇恒の腑						
	第4回	脾の生理と病理・関連のある奇恒の腑						
	第5回	肺の生理と病理・関連のある奇恒の腑						
	第6回	腎の生理と病理・関連のある奇恒の腑						
	第7回	六腑の生理と病理						
	第8回	肝・心の病証						
	第9回	脾・肺の病証						
	第10回	腎・六腑の病証						
	第11回	心・脾・肝の相互関係、心・肺・脾の相互関係、肺・脾・腎の相互関係						
	第12回	脾・肝・腎の相互関係、肺・脾・肝の相互関係、心・脾・腎の相互関係						
	第13回	六腑の協調関係、全身の気機						
	第14回	経絡・病因・病機						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学(基礎編)(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	東洋医学概論3			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			伊藤 孝訓	単位数	1
講義予定時間	木 曜日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	東洋医学的な診断法(四診)、弁証論治を理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①四診、弁証論治における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。 ②東洋医学的な診断法(四診)、弁証論治を理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	東洋医学的な診断方法(※東洋医学概論4と並行して授業を実施する。)					
	第2回	診断の心得					
	第3回	望診の種類と方法(神・色・形・態)					
	第4回	望診の種類と方法(舌診)					
	第5回	聞診の種類と方法(声診・五音・五声)					
	第6回	聞診の種類と方法(呼吸・発語・異常音・気味)					
	第7回	問診の種類と方法(主訴・基本的問診事項)					
	第8回	問診の種類と方法(その他の問診事項)					
	第9回	切診の種類と方法(反応・腹診)					
	第10回	切診の種類と方法(切経・経穴診)					
	第11回	弁証方法					
	第12回	論治(治則)					
	第13回	論治(治法)					
	第14回	弁証論治の進め方と証の決定					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学(基礎編)(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	東洋医学概論4			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			伊藤 孝訓	単位数	1
講義予定時間	木 曜日	10:40	~	12:10		2 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	東洋医学的な診断法(四診)、弁証論治を理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①四診、弁証論治における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。 ②東洋医学的な診断法(四診)、弁証論治を理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	東洋医学的な診断方法(※東洋医学概論3と並行して授業を実施する。)					
	第2回	診断の心得					
	第3回	望診の種類と方法(神・色・形・態)					
	第4回	望診の種類と方法(舌診)					
	第5回	聞診の種類と方法(声診・五音・五声)					
	第6回	聞診の種類と方法(呼吸・発語・異常音・気味)					
	第7回	問診の種類と方法(主訴・基本的問診事項)					
	第8回	問診の種類と方法(その他の問診事項)					
	第9回	切診の種類と方法(反応・腹診)					
	第10回	切診の種類と方法(切経・経穴診)					
	第11回	弁証方法					
	第12回	論治(治則)					
	第13回	論治(治法)					
	第14回	弁証論治の進め方と証の決定					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学(基礎編)(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	経絡経穴概論1				教員種別	専任	
					担当教員氏名		学期
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			久木田 和隆	単位数	1
講義予定時間	月 曜日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	経絡とは何かを考え東洋医学的理論と結びつけ経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、経穴の特性・主治・部位を把握することを目的とする。						
行動目標 (SBOs)	①経絡・腧穴の分類や治療における役割について、概要を理解し説明できる。 ②十四経脈の所属経穴の名前を覚え、要穴の種類と概要を説明できる。 ③経穴を取穴する上で必要な体表指標と骨度法、同身寸法を理解し体表から触知できる。						
授 業 計 画	第1回	経絡・経穴の概要 臓腑の概要					
	第2回	経絡の概要 正経十二経脈の流注					
	第3回	正経十二経脈の流注 奇経八脈					
	第4回	経別 絡脈 経筋 皮部					
	第5回	腧穴・骨度法・五要穴					
	第6回	五要穴 原穴・郄穴・絡穴・募穴・俞穴					
	第7回	五要穴 原穴・郄穴・絡穴・募穴・俞穴					
	第8回	五要穴 原穴・郄穴・絡穴・募穴・俞穴					
	第9回	五行穴・井穴・榮穴・俞穴・経穴・合穴					
	第10回	五行穴・井穴・榮穴・俞穴・経穴・合穴					
	第11回	五行穴・井穴・榮穴・俞穴・経穴・合穴					
	第12回	正経十二経脈の流注 経穴名暗唱 四総穴 八会穴					
	第13回	正経十二経脈の流注 経穴名暗唱 八脈交会穴 交会穴 下合穴					
	第14回	四総穴 八会穴 八脈交会穴 交会穴 下合穴					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書: 『新版 経絡経穴概論 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	経絡経穴概論2			教員種別	専任	
				担当教員氏名		濱上 裕基
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			履修学年	1 年
講義予定時間	金 曜日	14:50	～	16:20	4 時限目	後期
						単位数
一般目標 (GIO)	経絡とは何かを考え東洋医学的理論と結びつけ経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、十四経脈の経穴の中で治療においてよく用いられる要穴の取穴部位と効能について理解することを目的とする。					
行動目標 (SBOs)	①十四経脈の流注を理解する。 ②十四経脈上の各所属経穴の取穴部位を理解する。 ③要穴に分類される経穴の取穴部位と取り方を理解し説明できる。					
授 業 計 画	第1回	督脈 所属経穴と要穴				
	第2回	任脈 所属経穴と要穴				
	第3回	手の太陰肺経 所属経穴と要穴				
	第4回	手の陽明大腸経 所属経穴と要穴				
	第5回	足の陽明胃経 所属経穴と要穴				
	第6回	足の太陰脾経 所属経穴と要穴				
	第7回	手の少陰心経 所属経穴と要穴				
	第8回	手の太陽小腸経 所属経穴と要穴				
	第9回	足の太陽膀胱経 所属経穴と要穴				
	第10回	足の太陽膀胱経・足の少陰腎経 所属経穴と要穴				
	第11回	足の少陰腎経・手の厥陰心包経 所属経穴と要穴				
	第12回	手の少陽三焦経 所属経穴と要穴				
	第13回	足の少陽胆経 所属経穴と要穴				
	第14回	足の厥陰肝経 所属経穴と要穴				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『カラー版 経穴マップ』王 暁明 著 (医歯薬出版株式会社) 『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第2版』坂井 建雄ら 監訳 (医学書院)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	経絡経穴概論3			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		濱上 裕基	学 期
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			単位数	1	
講義予定時間	水 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	経絡とは何かを考え東洋医学的理論と結びつけ経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、経穴の特性・主治・部位を把握することを目的とする。						
行動目標 (SBOs)	①奇穴の取り方と鍼・灸・あん摩マッサージ指圧施術における用法について学び、説明できる。 ②各経脈の流注と関連する病証を学び、説明できる。 ③経絡経穴の現代医学的研究について学び、説明できる。						
授 業 計 画	第1回	奇穴の取穴と主治と用法					
	第2回	奇穴の取穴と主治と用法					
	第3回	よく知られている経穴の組み合わせ					
	第4回	経脈・絡脈・経筋・皮部					
	第5回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証①(肺経・大腸経)					
	第6回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証②(胃経・脾経)					
	第7回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証③(心経・小腸経)					
	第8回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証④(膀胱経・腎経)					
	第9回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証⑤(心包経・三焦経)					
	第10回	正経十二経の流注・経脈走行上の病証・経脈関連病証⑥(胆経・肝経)					
	第11回	奇経八脈の流注と病証①(督脈・任脈・衝脈・帯脈)					
	第12回	奇経八脈の流注と病証②(陰維脈・陽維脈・陰蹻脈・陽蹻脈)					
	第13回	経絡・経穴の現代医学的研究					
	第14回	経絡・経穴の現代医学的研究					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書: 『新版 経絡経穴概論 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第2版』 坂井 建雄ら 監訳 (医学書院) 『針灸奇穴辞典』 郝 金凱 編 木田 洋ら 共訳 (風林書房) 『早わかり経外穴110選』 張 仁 著 馬場 寛 訳 浅野 周 監訳 (源草社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	あん摩・マッサージ・指圧理論1			教員種別	専任			
				担当教員氏名		中野 信盛		
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			履修学年	1 年		
講義予定時間	火 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目	学期	後期	
						単位数	1	
一般目標 (GIO)	あん摩・マッサージ・指圧の理論を習得し、施術を適切に行う能力と態度を育てる。					授業形態	講義	
	行動目標 (SBOs)	①あん摩・マッサージ・指圧についてそれぞれの特徴を理解し説明できる。 ②あん摩・マッサージ・指圧の基本手技を覚え、施術に適する部位と人体に与える作用を基本手技とともに理解し説明できる。 ③古法あん摩の手技について理解し説明できる。						
授 業 計 画 画	第1回	あん摩、マッサージ、指圧について総論						
	第2回	第一章 あま指の意義						
	第3回	第一章 1. あん摩の意義と沿革						
	第4回	第一章 2. マッサージの意義と沿革						
	第5回	第一章 3. 指圧の意義と沿革						
	第6回	第一章 1. あん摩の基本手技とその作用						
	第7回	第一章 2. マッサージの基本手技とその作用						
	第8回	第一章 3. 指圧の基本手技とその作用						
	第9回	第二章 あん摩、マッサージ、指圧の生体に及ぼす作用						
	第10回	第二章 1. あ・マ・指の各組織・器官におよぼす作用①						
	第11回	第二章 1. あ・マ・指の各組織・器官におよぼす作用②						
	第12回	第二章 2. 運動法の生体におよぼす作用①						
	第13回	第二章 3. あま指の治療効果						
	第14回	第二章 あん摩、マッサージ、指圧と東洋医学						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材: 資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書: 『あん摩マッサージ指圧理論 第2版 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)』 『あん摩の理論と実践』 濱添 罔弘 著 (鹿児島鍼灸専門学校)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	はりきゅう理論1				教員種別	専任	履修学年	1 年
					担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	基礎あはき学			村瀬 健太郎	単位数	1	
講義予定時間	火 曜 日	10:40	~	12:10		2 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	鍼灸の理論を習得し、施術を適切に行う能力と態度を育てることを目標とする。							
行動目標 (SBOs)	①鍼の基礎知識や灸の基礎知識について述べるができる。 ②脳、脊髄の構成や末梢神経の走行について述べるができる。							
授 業 計 画	第1回	鍼灸施術の意義						
	第2回	鍼の基礎知識						
	第3回	刺鍼の方法と術式						
	第4回	刺鍼・抜鍼時の清潔操作						
	第5回	特殊鍼法						
	第6回	灸の基礎知識						
	第7回	鍼灸の臨床応用						
	第8回	消毒法の実際、						
	第9回	リスク管理						
	第10回	鍼灸の過誤と副作用						
	第11回	医療事故の防止対策						
	第12回	鍼灸治療の禁忌と注意すべき病態						
	第13回	鍼灸医療事故、有害事象対策①						
	第14回	鍼灸医療事故、有害事象対策②						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	はりきゅう理論 第3版 (医道の日本)、プリント、パワーポイント							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	東洋医学臨床論1			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学		担当教員氏名	
	講義予定時間	火 曜日	10:40 ~ 12:10	2 時限目	中野 信盛
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。				
行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができる。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的診療計画を立てることができる。				
授 業 計 画	第1回	総論①(1. 鍼灸臨床 2. 治療穴とその応用 3. 手技と手法)			
	第2回	総論②(1. 鍼灸臨床 2. 治療穴とその応用 3. 手技と手法)			
	第3回	第一節 疼痛 総論			
	第4回	第一節 疼痛 頭痛 顔面痛			
	第5回	第一節 疼痛 関節痛			
	第6回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(総論)			
	第7回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(野球)			
	第8回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(水泳)			
	第9回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(テニス/バドミントン)			
	第10回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(ラグビー)			
	第11回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(バスケ)			
	第12回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(バレー)			
	第13回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(陸上)			
	第14回	第一節 疼痛 運動と医学 スポーツ傷害(サッカー)			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材:新版 東洋医学臨床論(はりきゆう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編)(医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材:臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 病気が見えるシリーズ〈運動器〉(メディックメディア) 医学書院「研修医のための整形外科診療これだけは第2版(医学書院) ビジュアル実践リハ整形外科リハビリテーション(羊土社) 標準整形外科第2版(医学書院)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	東洋医学臨床論2				教員種別	専任	
					担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			中野 信盛	学期	前期
講義予定時間	火 曜 日	10:40	~	12:10		2 時限目	単位数
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。						
	行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができる。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的な診療計画を立てることができる。					
授 業 計 画	第1回	第一節 疼痛 頸肩腕痛・上肢痛①					
	第2回	第一節 疼痛 頸肩腕痛・上肢痛①					
	第3回	第一節 疼痛 肩関節痛①					
	第4回	第一節 疼痛 肩関節痛②					
	第5回	第一節 疼痛 腰下肢痛①					
	第6回	第一節 疼痛 腰下肢痛②					
	第7回	第一節 疼痛 腰痛①					
	第8回	第一節 疼痛 腰痛②					
	第9回	第一節 疼痛 下肢痛①					
	第10回	第一節 疼痛 下肢痛②					
	第11回	第一節 疼痛 膝痛①					
	第12回	第一節 疼痛 膝痛②					
	第13回	第一節 疼痛 胸痛					
	第14回	第一節 疼痛 腹痛					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) (医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 病気が見えるシリーズ (運動器)(メディックメディア) 医学書院『研修医のための整形外科診療これだけは第2版(医学書院) ビジュアル実践リハ整形外科リハビリテーション(羊土社) 標準整形外科第2版(医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	東洋医学臨床論3			教員種別	専任	
				担当教員氏名		中野 信盛
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			履修学年	2 年
講義予定時間	金 曜日	10:40	~	12:10	2 時限目	後期
						単位数
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。					
行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができる。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的な診療計画を立てることができる。					
授 業 計 画	第1回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 眼精疲労①				
	第2回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 眼精疲労②				
	第3回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 気分障害(うつ状態)①				
	第4回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 気分障害(うつ状態)②				
	第5回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 めまい①				
	第6回	第二節 臓腑と関連する症候 肝系統 めまい②				
	第7回	第二節 臓腑と関連する症候 心系統 動悸・息切れ				
	第8回	第二節 臓腑と関連する症候 心系統 血圧異常				
	第9回	第二節 臓腑と関連する症候 心系統 睡眠障害				
	第10回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 食欲不振				
	第11回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 肥満				
	第12回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 やせ(るい瘦)				
	第13回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 悪心・嘔吐①				
	第14回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 悪心・嘔吐②				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編)(医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 新版 東洋医学概論(医道の日本社) 病気が見えるシリーズ (消化器)(循環器)(メディックメディア)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	東洋医学臨床論4			教員種別	専任	
				担当教員氏名		中野 信盛
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			履修学年	2 年
講義予定時間	金 曜日	13:10	～	14:40	3 時限目	後期
						単位数
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。					
行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができ。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的な診療計画を立てることができる。					
授 業 計 画	第1回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 便秘・下痢①				
	第2回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 便秘・下痢②				
	第3回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 便秘・下痢③				
	第4回	第二節 臓腑と関連する症候 脾系統 歯痛				
	第5回	第二節 臓腑と関連する症候 肺系統 咳嗽と喀痰				
	第6回	第二節 臓腑と関連する症候 肺系統 呼吸困難				
	第7回	第二節 臓腑と関連する症候 肺系統 鼻閉・鼻汁①				
	第8回	第二節 臓腑と関連する症候 肺系統 鼻閉・鼻汁②				
	第9回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 脱毛症				
	第10回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 耳鳴・難聴①				
	第11回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 耳鳴り・難聴②				
	第12回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 排尿障害①				
	第13回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 排尿障害②				
	第14回	第二節 臓腑と関連する症候 腎系統 ED(勃起障害)				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) (医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 新版 東洋医学概論(医道の日本社) 病気が見えるシリーズ 〈腎・泌尿器〉〈呼吸器〉〈耳鼻咽喉科〉(メディックメディア)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	東洋医学臨床論5			教員種別	専任	履修学年	3 年	
				担当教員氏名		学 期	前期	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			中野 信盛	単位数	1	
講義予定時間	木 曜日	10:40	~	12:10		2 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。							
行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができる。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的な診療計画を立てることができる。							
授 業 計 画	第1回	第五節 女性特有の症候 概説						
	第2回	第五節 女性特有の症候 月経異常①						
	第3回	第五節女性特有の症候 月経異常②						
	第4回	第五節 女性特有の症候 性器出血						
	第5回	第五節 女性特有の症候 帯下						
	第6回	第五節 女性特有の症候 不妊症 つわり						
	第7回	第五節 女性特有の症候 骨盤移(逆子) 乳汁分泌不足						
	第8回	第六節 小児特有の症候 概説						
	第9回	第六節 小児特有の症候 疳の虫						
	第10回	第六節 小児特有の症候 夜尿症						
	第11回	第六節 小児特有の症候 小児喘息						
	第12回	第七節 老年特有の症候 概説						
	第13回	第七節 老年特有の症候 認知症①						
	第14回	第七節 老年特有の症候 認知症②						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) (医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 新版 東洋医学概論(医道の日本社) 病気が見えるシリーズ (腎・泌尿器)(呼吸器)(婦人科・乳腺外科)(メディックメディア)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	東洋医学臨床論6				教員種別	専任	履修学年	3 年
					担当教員氏名		中野 信盛	学 期
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			単位数	1		
講義予定時間	木 曜日	10:40	~	12:10		2	時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	診察の結果をもとに、治療の適不適を判断し、適切な治療が行えるよう、その方法を学習することを目的とする。臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対して、現代医学と東洋医学を総合した診療を総合した診療の実際を学習し理解を深める。							
行動目標 (SBOs)	①臨床で遭遇しやすい症候・疾患の定義を理解し、適否の判断をすることができる。 ②臨床で遭遇しやすい症候・疾患に対し、現代医学的、東洋医学的な診療計画を立てることができる。							
授 業 計 画 画	第1回	第三節 全身の症候 疲労と倦怠感						
	第2回	第三節 全身の症候 発熱						
	第3回	第三節 全身の症候 冷え						
	第4回	第三節 全身の症候 のぼせ						
	第5回	第三節 全身の症候 浮腫①						
	第6回	第三節 全身の症候 浮腫②						
	第7回	第三節 全身の症候 掻痒感・肌荒れ・発疹①						
	第8回	第三節 全身の症候 掻痒感・肌荒れ・発疹②						
	第9回	第四節 その他の症候 顔面麻痺①						
	第10回	第四節 その他の症候 顔面麻痺②						
	第11回	第四節 その他の症候 歩行異常①						
	第12回	第四節 その他の症候 歩行異常②						
	第13回	第四節 その他の症候 口渇						
	第14回	第四節 その他の症候 出血傾向						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) (医道の日本社) 配布プリント PowerPointスライド 参考教材: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社) 新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 新版 東洋医学概論(医道の日本社) 病気が見えるシリーズ <免疫・膠原病・感染症><血液><運動器>(メディックメディア)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	経絡経穴臨床論1			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	水 曜日	13:10	~	14:40		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	経絡とは何かを考え東洋医学的理論と結びつけ経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、経穴の特性・主治・部位を把握することを目的とする。						
行動目標 (SBOs)	①各経脈の所属経穴の取穴部位と取り方について説明できる。 ②各経脈の所属経穴の周囲にある解剖学的構造を理解し説明できる。 ③各経脈の所属経穴の鍼・灸・あん摩マッサージ指圧施術における用法について学び、説明できる。						
授 業 計 画	第1回	督脈の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(体幹部)					
	第2回	督脈の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(頭顔面部)					
	第3回	任脈の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物					
	第4回	手の太陰肺経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物					
	第5回	手の陽明大腸経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(上肢)					
	第6回	手の陽明大腸経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(肩関節部・頸部・顔面部)					
	第7回	足の陽明胃経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(頭顔面部・体幹部)					
	第8回	足の陽明胃経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(下肢)					
	第9回	足の太陰脾経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(下肢)					
	第10回	足の太陰脾経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(体幹部)					
	第11回	手の少陰心経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物					
	第12回	手の太陽小腸経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物					
	第13回	足の太陽膀胱経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(頭顔面部)					
	第14回	足の太陽膀胱経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(体幹部)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会 編(医道の日本社) 『カラー版 経穴マップ』王 暁明 著(医歯薬出版株式会社) 『図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第2版』尾崎 昭弘 著(医歯薬出版株式会社) 『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第2版』坂井 建雄ら 監訳(医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	経絡経穴臨床論2			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学		担当教員氏名	
	単位数	1		濱上 裕基	
講義予定時間	水 曜日	9:00 ~ 10:30	1 時限目	授業形態	講義
一般目標 (GIO)	経絡とは何かを考え東洋医学的理論と結びつけ経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、経穴の特性・主治・部位を把握することを目的とする。				
行動目標 (SBOs)	①各経脈の所属経穴の取穴部位と取り方について説明できる。 ②各経脈の所属経穴の周囲にある解剖学的構造物を理解し説明できる。 ③各経脈の所属経穴の鍼・灸・あん摩マッサージ指圧施術における用法について学び、説明できる。				
授 業 計 画	第1回	足の太陽膀胱経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物③(下肢)			
	第2回	足の少陰腎経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(下肢)			
	第3回	足の少陰腎経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(体幹)			
	第4回	手の厥陰心包経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物			
	第5回	手の少陽三焦経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(上肢)			
	第6回	手の少陽三焦経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(肩関節部・頸部・頭顔面部)			
	第7回	足の少陽胆経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(頭顔面部)			
	第8回	足の少陽胆経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(体幹部)			
	第9回	足の少陽胆経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物③(下肢)			
	第10回	足の厥陰肝経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物①(下肢)			
	第11回	足の厥陰肝経の所属経穴の取穴と関連する解剖学的構造物②(体幹部)			
	第12回	頭顔面部の経穴の取穴と関連する解剖学的構造物の復習			
	第13回	体幹部の経穴の取穴と関連する解剖学的構造物の復習			
	第14回	四肢の経穴の取穴と関連する解剖学的構造物の復習			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会 編(医道の日本社) 『カラー版 経穴マップ』王 暁明 著(医歯薬出版株式会社) 『図解 鍼灸臨床手技マニュアル 第2版』尾崎 昭弘 著(医歯薬出版株式会社) 『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第2版』坂井 建雄ら 監訳(医学書院)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	あん摩・マッサージ・指圧理論2			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			中野 信盛	単位数	1
講義予定時間	木 曜日	13:10	~	14:40		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	あま指の基礎理論を習得し、施術を適切に行う能力や態度を育てる。						
行動目標 (SBOs)	①あま指の東洋医学的な概念を述べることができる。 ②患者の病態や症状に適切なあま指の手技が選択できる。 ③臨床上の注意点(禁忌)について述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	第三章 あん摩マッサージ指圧と東洋医学 ①					
	第2回	第三章 あん摩マッサージ指圧と東洋医学 ②					
	第3回	第三章 あん摩マッサージ指圧と東洋医学 ③					
	第4回	第三章 あん摩マッサージ指圧と東洋医学 ④					
	第5回	第三章 あん摩マッサージ指圧と東洋医学 ⑤					
	第6回	第四章 あん摩マッサージ指圧の応用 ①					
	第7回	第四章 あん摩マッサージ指圧の応用 ②					
	第8回	第四章 あん摩マッサージ指圧の応用 ③					
	第9回	第四章 あん摩マッサージ指圧の応用 ④					
	第10回	第四章 あん摩マッサージ指圧の応用 ⑤					
	第11回	第五章 あん摩マッサージ指圧の施術上の注意点 ①					
	第12回	第五章 あん摩マッサージ指圧の施術上の注意点 ②					
	第13回	まとめ ①					
	第14回	まとめ ②					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:あん摩・マッサージ・指圧理論 第2版(医道の日本) プリントを適宜配付する。						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	はりきゅう理論2			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学		担当教員氏名	
	講義予定時間	月 曜日	10:40 ~ 12:10	2 時限目	村瀬 健太郎
一般目標 (GIO)	鍼灸の理論を習得し、施術を適切に行う能力と態度を育てる。				
行動目標 (SBOs)	①鍼鎮痛について述べるができる。 ②鍼灸刺激が生体に及ぼす影響について述べるができる。				
授 業 計 画	第1回	痛み感覚の受容と伝導			
	第2回	温度感覚の受容と伝達			
	第3回	触圧感覚の受容と伝達			
	第4回	鍼灸刺激と反射			
	第5回	鍼鎮痛			
	第6回	ゲートコントロール説			
	第7回	刺激と反応			
	第8回	鍼灸療法の一般治効理論			
	第9回	自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響			
	第10回	鍼灸刺激とポリモーダル受容器			
	第11回	生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響			
	第12回	関連学説			
	第13回	関連学説			
	第14回	汎適応症候群の学説(ストレス学説)			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	はりきゅう理論 第3版(医道の日本)、配布プリント、パワーポイント				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	臨床診察学			教員種別	専任	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	10:40	~	12:10	2 時限目	溝口 弘敏
授業形態						講義
一般目標 (GIO)	臨床に必要な診察および治療に関する医学的知識ならびに技能(患者の臨床心理を含む)について学習する。そして、確かな病態把握を行い患者へ診療の場において適切な応用ができることを目標とする。					
行動目標 (SBOs)	①全身に表れる様々な変化を視覚的にとらえ、その意味を理解し、疾患を推測できるようにする。 ②打診や聴診、触診といった診断方法を理解し、所見から疾患を推測できるようにする。 ③血液や尿などを対象とした検査項目を理解し、所見から疾患を推測できるようにする。 ④様々な画像検査法の特性を理解し、所見から疾患を推測できるようにする。					
授 業 計 画 画	第1回	第5章 局所の診察(頭部、顔面、眼)				
	第2回	第5章 局所の診察(鼻、耳、口腔、頸部、胸部)				
	第3回	第5章 局所の診察(乳房、肺・胸膜、心臓)				
	第4回	第5章 局所の診察(腹部、背部)				
	第5回	第5章 局所の診察(四肢の変形)				
	第6回	第9章 臨床検査法(一般検査①)				
	第7回	第9章 臨床検査法(一般検査②)				
	第8回	第9章 臨床検査法(一般検査③)				
	第9回	第9章 臨床検査法(血液生化学検査①)				
	第10回	第9章 臨床検査法(血液生化学検査②)				
	第11回	第9章 臨床検査法(血液生化学検査③)				
	第12回	第9章 臨床検査法(血液生化学検査④)				
	第13回	第9章 臨床検査法(生理学的検査および画像診断の概要①)				
	第14回	第9章 臨床検査法(生理学的検査および画像診断の概要②)				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学総論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床検査法			教員種別	専任		
				担当教員氏名		中野 信盛	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			履修学年	2 年	
講義予定時間	金 曜日	13:10	~	14:40	3 時限目	学 期	前期
						単位数	1
講義予定時間						授業形態	実習
一般目標 (GIO)	様々な徒手検査法の意義を理解し、東洋医学臨床の中で適切に活用できることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①様々な症状に対し、適切な検査法を選択できるようにする。 ②検査法の意義を理解し、対象に適切な刺激を与えることができるようにする。 ③検査法で得られた結果から病態を推測することができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	臨床検査の意義					
	第2回	検査法の種類と特性					
	第3回	深部腱反射検査①(上肢腱反射)					
	第4回	深部腱反射検査②(下肢腱反射)					
	第5回	深部腱反射検査③(触覚検査など)					
	第6回	整形外科的検査法①(頸部)					
	第7回	整形外科的検査法②(胸郭出口)					
	第8回	整形外科的検査法③(肩関節)					
	第9回	整形外科的検査法④(上肢)					
	第10回	整形外科的検査法⑤(腰部)					
	第11回	整形外科的検査法⑥(股関節)					
	第12回	整形外科的検査法⑦(下肢)					
	第13回	その他の検査法①(病的反射など)					
	第14回	その他の検査法②(病的反射など)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 臨床医学総論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書: DVDで学ぶ運動器徒手検査法(南江堂)、エビデンスに基づく整形外科徒手検査法						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	触察解剖			教員種別	専任		
				担当教員氏名		溝口 弘敏	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			履修学年	1 年	
講義予定時間	火 曜 日	14:50	~	16:20	4 時限目	学 期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	体表から触れることのできる筋肉群の起始、停止、作用、筋肉同士の配置を理解し、当該筋肉の筋腹を触知できるようにする。						
行動目標 (SBOs)	①前腕および下腿浅層筋群の各起始・停止・作用を挙げられるようにする。 ②当該筋群を体表から触察し、これを触知できるようにする。 ③触察する相手に対し、触察の際に適切な指示を出すことができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	概要および関節の動きの説明					
	第2回	前腕伸筋群(腕橈骨筋)の触察					
	第3回	前腕伸筋群(橈側手根伸筋)の触察					
	第4回	前腕伸筋群(指伸筋)の触察					
	第5回	前腕伸筋群(尺側手根伸筋)の触察					
	第6回	前腕屈筋群(橈側手根屈筋・長掌筋・尺側手根屈筋)の触察					
	第7回	前腕屈筋群(橈側手根屈筋・長掌筋・尺側手根屈筋)の触察					
	第8回	下腿伸筋群(前脛骨筋)の触察					
	第9回	下腿伸筋群(長趾伸筋)の触察					
	第10回	下腿屈筋群(長腓骨筋)の触察					
	第11回	下腿屈筋群(短腓骨筋)の触察					
	第12回	下腿屈筋群(腓腹筋)の触察					
	第13回	下腿屈筋群(ヒラメ筋)の触察					
	第14回	腰部筋群の触察					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:解剖生理学 第1版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:骨格筋の形と触察法(大峰閣)、プロメテウス解剖学アトラス(医学書院) 解剖学講義(南山堂)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	臨床生理学				教員種別	専任	
					担当教員氏名		学 期
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			溝口 弘敏	単位数	1
講義予定時間	水 曜日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	臨床に必要な診察および治療に関する医学的知識ならびに技能(患者の臨床心理を含む)について学習する。そして、確かな病態把握を行い患者へ診療の場において適切な応用ができることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①様々な疾患にみられる症状の意味を学習し、患者の訴えを理解できるようにする。 ②症状が起こる病態を学習し、原因を推測することができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	全身倦怠感、発熱、やせ・肥満、成長障害					
	第2回	ショック、めまい、けいれん、口渇、浮腫					
	第3回	チアノーゼ、発疹、掻痒、黄疸、発汗異常					
	第4回	鼠径部膨隆、嗅覚障害、味覚障害、視力低下・視野欠損、眼精疲労					
	第5回	眼瞼下垂、複視、難聴、眼振、耳鳴り、咳・痰					
	第6回	咯血、嘔声、胸痛、呼吸困難、胸水					
	第7回	脈拍異常・動悸、血圧異常、嚥下困難、胸やけ					
	第8回	腹痛、悪心・嘔吐、吐血、下血、便秘、下痢					
	第9回	腹部膨隆、腹水、貧血、出血傾向、易感染性					
	第10回	尿量異常、排尿障害、血尿、月経異常、性器出血					
	第11回	睡眠障害、認知機能障害、躁・うつ状態、幻覚妄想、不安障害					
	第12回	片麻痺、失語・失認・失行、見当識障害、記憶障害、感覚障害					
	第13回	歩行障害、失神、頭痛、頸肩腕痛					
	第14回	運動麻痺、不随意運動、腰下肢痛、関節痛					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学総論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	あはき適応・禁忌			教員種別	専任		
				担当教員氏名		中野 信盛	
授業科目区分	専門分野	臨床あはき学			履修学年	3 年	
講義予定時間	金 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	学 期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	臨床で遭遇する疾患に対する知識を習得し、診察・カルテの記載・治療方針が立てられるようになる。						
行動目標 (SBOs)	①神経学的所見・レッドフラッグを鑑別できるようになり、その疾患が鍼灸適応であるか判断できる。 ②患者の主訴、客観的な所見・鑑別した根拠、病態把握・術者の評価、治療計画を立てられる。 ③患者の病態把握・治療計画を第三者に要点をまとめて報告できる。						
授 業 計 画 画	第1回	適応禁忌総論① バイオメカニクス 基礎理論					
	第2回	適応禁忌総論② バイオメカニクス スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス					
	第3回	適応禁忌各論(頸椎疾患)①					
	第4回	適応禁忌各論(頸椎疾患)②					
	第5回	適応禁忌各論(頸椎疾患)③					
	第6回	適応禁忌各論(肩関節疾患)①					
	第7回	適応禁忌各論(肩関節疾患)②					
	第8回	適応禁忌各論(肩関節疾患)③					
	第9回	適応禁忌各論(腰椎疾患)①					
	第10回	適応禁忌各論(腰椎疾患)②					
	第11回	適応禁忌各論(腰椎疾患)③					
	第12回	適応禁忌各論(膝関節疾患)①					
	第13回	適応禁忌各論(膝関節疾患)②					
	第14回	適応禁忌各論(膝関節疾患)③					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	プリントを適宜配付する。 参考図書:「型」が身につくカルテの書き方(医学書院) めざせ! 外来診療の達人 第3版(日本医事新報社) 標準整形外科(医学書院) 第2版 骨格筋の形と触察法(大峰閣) 標準整形外科第2版(医学書院) ビジュアル実践リハ整形外科リハビリテーション(羊土社) 研修医のための整形外科診療これだけは 第2版(医学書院) 病気がみえる〈運動器〉(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の5分の4以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	社会あはき学1			教員種別	専任		
				担当教員氏名		中野 信盛	
授業科目区分	専門分野	社会あはき学			履修学年	3 年	
講義予定時間	水 曜日	10:40	~	12:10	2 時限目	学期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	あはき師を取り巻く環境は社会保障制度の改革や社会構造の変化で大きく変わりつつある。このような時代においてあはき師は国民の健康にどのように寄与しているかを把握し、その上で自分たちのあるべき姿を理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①あはき師を取り巻く環境を述べることができる。 ②各保険制度の概要を述べるができる。 ③医療機関や地域におけるあはき師の役割や業務を述べるができる。						
授 業 計 画	第1回	第一章 総論 社会的ニーズとあはき師の役割					
	第2回	第一章 総論 社会的ニーズとあはき師の役割 1. 日本におけるあはきの歴史と現状概観					
	第3回	第一章 総論 社会的ニーズとあはき師の役割 2. 現代のあはきにおける背景と展望					
	第4回	第二章 あはき師を取り巻く環境					
	第5回	第二章 あはき師を取り巻く環境 1. 現代社会における医療制度の現状					
	第6回	第二章 あはき師を取り巻く環境 2. 医療保険制度及び介護保険制度の概要					
	第7回	第二章 あはき師を取り巻く環境 3. 社会保障制度下におけるあはき治療①					
	第8回	第二章 あはき師を取り巻く環境 4. 社会保障制度下におけるあはき治療②					
	第9回	第二章 あはき師を取り巻く環境 5. 医療機関におけるあはき師の役割①					
	第10回	第二章 あはき師を取り巻く環境 6. 医療機関におけるあはき師の役割②					
	第11回	第三章 地域で期待されるあはき師の業務 1. 施術所におけるあはき治療					
	第12回	第三章 地域で期待されるあはき師の業務 2. 在宅医療					
	第13回	第三章 地域で期待されるあはき師の業務 3. 介護保険制度下での業務					
	第14回	第三章 地域で期待されるあはき師の業務 4. 併用する物理療法					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:社会あはき学 第2版 (医歯薬出版株式会社) 参考教材:公衆衛生がみえる 2020-2021 (メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	社会あはき学2			教員種別	専任		
				担当教員氏名		中野 信盛	
授業科目区分	専門分野	社会あはき学			履修学年	3 年	
講義予定時間	水 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目	学期	後期
						単位数	1
講義予定時間						授業形態	講義
一般目標 (GIO)	あはき師を取り巻く環境は社会保障制度の改革や社会構造の変化で大きく変わりつつある。このような時代においてあはき師は国民の健康にどのように寄与しているかを把握し、その上で自分たちのあるべき姿を理解することを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①あはき師を取り巻く環境を述べることができる。 ②各保険制度の概要を述べるができる。 ③医療機関や地域におけるあはき師の役割や業務を述べるができる。						
授 業 計 画 画	第1回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割					
	第2回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 1. 高齢社会におけるあはき師の役割①					
	第3回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 1. 高齢社会におけるあはき師の役割②					
	第4回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 2. 少子化社会におけるあはき師の役割					
	第5回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 3. 女性の健康管理におけるあはき師の役割①					
	第6回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 3. 女性の健康管理におけるあはき師の役割②					
	第7回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 4. ストレス社会におけるあはき師の役割①					
	第8回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 4. ストレス社会におけるあはき師の役割②					
	第9回	第四章 5. スポーツ傷害に対するあはき師の役割① 運動と心理 運動と心理の基礎理論					
	第10回	第四章 5. スポーツ傷害に対するあはき師の役割② 運動と心理 運動学習と指導法					
	第11回	第四章 5. スポーツ傷害に対するあはき師の役割③ 運動と栄養 対象と目的に応じた栄養摂取					
	第12回	第四章 現代社会におけるあはき師の役割 6. QOLの向上とあはき師の役割①					
	第13回	第五章 施術所の経営展開 1. 施術所開設に必要な法律知識					
	第14回	第五章 施術所の経営展開 2. 経営各論					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:社会あはき学 第2版 (医歯薬出版株式会社) 参考教材:公衆衛生がみえる 2020-2021 (メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	基礎実習1			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数
講義予定時間	木 曜 日	9:00	~	10:30	1 時限目
一般目標 (GIO)	施術に際し必要な消毒の知識を理解し、患者の安全性を考え安心できる治療環境作りを目標とする。 現在、一般的に行われている管鍼法と撚鍼法を習得し、直刺・斜刺・横刺の技術習得を目標とする。				
行動目標 (SBOs)	①刺鍼に関わる一連の動作について注意すべき技術的内容を理解し実践できる。 ②刺鍼前後の消毒・衛生動作について理解し実践できる。 ③刺鍼中の手技について理解し実践できる。				
授 業 計 画	第1回	基礎実習の概要説明			
	第2回	鍼の基礎実技①			
	第3回	鍼の基礎実技②			
	第4回	方式(撚鍼法 打鍼法 管鍼法)①			
	第5回	方式(撚鍼法 打鍼法 管鍼法)②			
	第6回	両手挿管			
	第7回	片手挿管①			
	第8回	片手挿管②			
	第9回	直刺①			
	第10回	直刺②			
	第11回	斜刺①			
	第12回	斜刺②			
	第13回	横刺①			
	第14回	横刺②			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習2			教員種別	専任		
				担当教員氏名		学 期	1 年 前期
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数	1	
講義予定時間	水 曜日	13:10	～	14:40	3 時限目	授業形態	実習
一般目標 (GIO)	刺鍼の基本的技術、特に管鍼法・旋撚刺法の技術を習得し、人体へ施術するための基本的な技術の土台を学ぶ。						
行動目標 (SBOs)	①刺鍼に関わる一連の動作について注意すべき技術的内容を理解し実践できる。 ②刺鍼前後の消毒・衛生動作について理解し実践できる。 ③刺鍼中の手技(十七手技)について理解し実践できる。						
授 業 計 画	第1回	衛生動作・前揉法・後揉法・押手・立管・挿管法					
	第2回	管鍼法・十七手技(単刺術、雀啄術)①					
	第3回	管鍼法・十七手技(単刺術、雀啄術)②					
	第4回	片手挿管法・十七手技(間歇術、屋漏術)①					
	第5回	片手挿管法・十七手技(間歇術、屋漏術)②					
	第6回	手指消毒、施術部位の消毒、衛生動作①					
	第7回	手指消毒、施術部位の消毒、衛生動作②					
	第8回	手指消毒、施術部位の消毒、衛生動作③					
	第9回	十七手技(振せん術、置鍼術、旋撚術)の練習					
	第10回	十七手技(回旋術、管散術)の練習					
	第11回	十七手技(乱鍼術、副刺激術)の練習					
	第12回	十七手技(示指打法、随鍼術、内調術)の練習					
	第13回	十七手技(細指術、鍼尖転移法、刺鍼転向法)の練習					
	第14回	消毒・衛生動作を含む一連の刺鍼動作、十七手技の練習					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(Word)を配布する。 施灸前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書:『はりきゅう実技<基礎編> 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『はりきゅう理論』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の5分の4以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習3			教員種別	専任		
				担当教員氏名		濱上 裕基	
授業科目区分	専門分野	実 習			履修学年	1 年	
講義予定時間	火 曜 日	10:40	～	12:10	2 時限目	学期	後期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	人体(膝関節部、下腿、足部)への刺鍼の基礎技術を確実に習得する。正しく取穴をした経穴に刺鍼を安全に確実にを行う技術を学ぶ。						
行動目標 (SBOs)	①刺鍼前後の消毒・衛生動作を人体に対し適切に実践できる。 ②膝関節部、下腿、足部の要穴について部位と取り方を理解し正確に取穴できる。 ③膝関節部、下腿、足部の要穴に安全に刺鍼できる。						
授 業 計 画	第1回	足の要穴(足の陽明胃経)への刺鍼と取穴					
	第2回	足の要穴(足の陽明胃経・足の太陰脾経)への刺鍼と取穴					
	第3回	足の要穴(足の太陰脾経・足の少陰腎経)への刺鍼と取穴					
	第4回	足の要穴(足の少陰腎経・足の太陽膀胱経)への刺鍼と取穴①					
	第5回	足の要穴(足の少陰腎経・足の太陽膀胱経)への刺鍼と取穴②					
	第6回	足の要穴(足の少陽胆経)への刺鍼と取穴					
	第7回	足の要穴(足の厥陰肝経)への刺鍼と取穴					
	第8回	足の要穴(足の少陽胆経・足の厥陰肝経)への刺鍼と取穴					
	第9回	足の要穴(足の三陽経)への刺鍼と取穴①					
	第10回	足の要穴(足の三陽経)への刺鍼と取穴②					
	第11回	足の要穴(足の三陰経)への刺鍼と取穴①					
	第12回	足の要穴(足の三陰経)への刺鍼と取穴②					
	第13回	足の要穴(足の三陰三陽経)への刺鍼と取穴①					
	第14回	足の要穴(足の三陰三陽経)への刺鍼と取穴②					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 資料(Word)を配布する。 施灸前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書: 『はりきゅう実技<基礎編> 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『新版 経絡経穴概論 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習4				教員種別	専任	履修学年	1 年
					担当教員氏名		中野 信盛	学 期
授業科目区分	専門分野	実 習			中野 信盛		単位数	1
講義予定時間	水 曜 日	14:50	~	16:20	4	時限目	授業形態	実習
一般目標 (GIO)	人体(前腕部、手部、手関節、肘関節部)への刺鍼の基礎を確実に習得する。 正しく取穴をした経穴に刺鍼を安全に確実にを行う技術を学ぶ。							
行動目標 (SBOs)	①刺鍼前後の消毒・衛生動作を人体に対し適切に実践できる。 ②肘関節部、前腕、手部の要穴について部位と取り方を理解し正確に取穴できる。 ③肘関節、前腕、手部の要穴に安全に刺鍼できる。							
授 業 計 画	第1回	手の要穴(手の太陰肺経)への刺鍼と取穴						
	第2回	手の要穴(手の太陰肺経・手の陽明大腸経)への刺鍼と取穴						
	第3回	手の要穴(手の少陰心経・手の太陽小腸経)への刺鍼と取穴						
	第4回	手の要穴(手の少陽三焦経)への刺鍼と取穴①						
	第5回	手の要穴(手の少陽三焦経・手の厥陰心包経)への刺鍼と取穴②						
	第6回	手の要穴(手の厥陰心包経)への刺鍼と取穴						
	第7回	手の要穴(手の厥陰心包経)への刺鍼と取穴						
	第8回	手の要穴(手の三陽経)への刺鍼と取穴①						
	第9回	手の要穴(手の三陽経)への刺鍼と取穴②						
	第10回	手の要穴(手の三陽経)への刺鍼と取穴③						
	第11回	手の要穴(手の三陰経)への刺鍼と取穴①						
	第12回	手の要穴(手の三陰経)への刺鍼と取穴②						
	第13回	手の要穴(手の三陰経)への刺鍼と取穴③						
	第14回	手の要穴(手の三陰経・手の三陰経)への刺鍼と取穴③						
	第15回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材:資料を配布する。 刺鍼前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書:『はりきゅう実技<基礎編> 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の5分の4以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習5			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		村瀬 健太郎	学 期
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数	1	
講義予定時間	月 曜日	14:50	~	16:20	4 時限目	授業形態	実習
一般目標 (GIO)	灸施術に際し、必要な消毒の知識を理解し、患者の安全性を考え安心できる治療環境作りを目標とする。実技では基本の灸のすえかたを学習する。						
行動目標 (SBOs)	①艾炷の形成、点火、施灸ができる。 ②半米粒大透熱灸を素早く安全に実践できる。						
授 業 計 画	第1回	道具の説明・用意する道具についての説明・手指の消毒について					
	第2回	もぐさの製造過程や道具についての説明					
	第3回	灸の基本的なひねりかた					
	第4回	米粒大の艾炷のひねり					
	第5回	竹の上へ半米粒大の艾炷のひねり					
	第6回	竹の上へ半米粒大の艾炷のひねり					
	第7回	竹の上へ半米粒大の艾炷のひねり					
	第8回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり					
	第9回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり					
	第10回	線香での点火・火を取り扱う上での注意					
	第11回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり、点火の練習					
	第12回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり、点火の練習					
	第13回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり、点火の練習					
	第14回	竹の上に敷いた紙へ半米粒大の艾炷のひねり、点火の練習					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	はりきゅう実技<基礎編> 第2版 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習6			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	金 曜 日	14:50	～	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	灸の基本実技を知り正確ですばやくかつ安全に人体に施灸することができる様々な灸の種類や灸法を学び理解することができる。透熱灸を中心に基本的に施灸技術を習得させる。						
行動目標 (SBOs)	①良質艾と粗悪艾の特徴を理解し、艾炷の形成、点火、施灸ができる。 ②施灸前と施灸後の消毒と衛生動作を理解し実践できる。 ③一定の大きさ、形、硬さの半米粒大透熱灸を素早く安全に実践できる。						
授 業 計 画	第1回	手洗い、艾の管理、こよりを捻る練習					
	第2回	艾炷の形成の練習					
	第3回	線香の使い方の練習					
	第4回	半米粒大の艾炷を作り、艾炷を置く練習					
	第5回	艾炷への点火の練習					
	第6回	施灸の一連動作の練習①					
	第7回	施灸の一連動作の練習②					
	第8回	粗悪艾を用いた艾炷の形成①					
	第9回	粗悪艾を用いた艾炷の形成②					
	第10回	糸状灸の練習①					
	第11回	糸状灸の練習②					
	第12回	施灸の一連動作の練習③					
	第13回	消毒、衛生動作、失眠穴への施灸					
	第14回	消毒・衛生動作、半米粒大透熱灸の練習					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 施灸前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書: はりきゅう実技<基礎編> 第2版 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考資料: 2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習7			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門分野	実 習			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	月 曜日	14:50 ~ 16:20	4	時限目		授業形態	実習
一般目標 (GIO)	施灸方法について総論的に整理し体幹部の施灸頻度の高い経穴に施灸できることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①施灸前後の消毒・衛生動作を人体に対し適切に実践できる。 ②体幹の経穴・奇穴について部位と取り方を理解し正確に取穴できる。 ③体幹の経穴・奇穴に安全に施灸できる。						
授 業 計 画	第1回	督脈(腰部)の施灸と取穴					
	第2回	足の太陽膀胱経(腰部)の施灸と取穴					
	第3回	督脈(背部)の施灸と取穴					
	第4回	足の太陽膀胱経(背部)の施灸と取穴					
	第5回	体幹後面の奇穴への施灸と取穴					
	第6回	肩甲部の施灸と取穴					
	第7回	肩関節後面の施灸と取穴					
	第8回	体幹後面の施灸と取穴(第1回～第7回の復習)					
	第9回	肩関節前面の施灸と取穴					
	第10回	任脈(腹部)の施灸と取穴					
	第11回	下腹部の施灸と取穴					
	第12回	上腹部の施灸と取穴①					
	第13回	前胸部の施灸と取穴②					
	第14回	体幹前面の施灸と取穴(第9回～第13回の復習)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 施灸前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書:『はりきゅう実技<基礎編> 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第2版』坂井 建雄ら 監訳 (医学書院) 『柔道整復師と鍼灸師の筋の触診サイドブック 第2版』尾崎 裕大 著 (デザインエッグ株式会社) 『筋骨格系の触診マニュアル 第2版』ジョセフ・E・マスコーノ 著 (ガイアブックス)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	基礎実習8			教員種別	専任	
				担当教員氏名		学 期
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数	1
講義予定時間	木 曜 日	14:50	~	16:20	4 時限目	村瀬 健太郎 授業形態 実習
一般目標 (GIO)	施灸方法について総論的に整理し身体各部(肘関節部・前腕部・手部・膝関節部・下腿・足部)の施灸頻度の高い経穴に施灸できることを目標とする。					
行動目標 (SBOs)	①施灸前後の消毒・衛生動作を人体に対し適切に実践できる。 ②肘関節部・前腕部・手部・膝関節部・下腿・足部の要穴について部位と取り方を理解し正確に取穴できる。 ③肘関節部・前腕部・手部・膝関節部・下腿・足部の要穴に安全に施灸できる。					
授 業 計 画	第1回	手足の要穴(手足陽明経)への施灸と取穴①				
	第2回	手足の要穴(手足陽明経)への施灸と取穴②				
	第3回	手足の要穴(手足太陰経)への施灸と取穴①				
	第4回	手足の要穴(手足太陰経)への施灸と取穴②				
	第5回	手足の要穴(手足少陰経)への施灸と取穴①				
	第6回	手足の要穴(手足少陰経)への施灸と取穴②				
	第7回	手足の要穴(手足少陽経)への施灸と取穴①				
	第8回	手足の要穴(手足少陽経)への施灸と取穴②				
	第9回	手足の要穴(手足太陽経)への施灸と取穴①				
	第10回	手足の要穴(手足太陽経)への施灸と取穴②				
	第11回	手足の要穴(手足厥陰経)への施灸と取穴①				
	第12回	手足の要穴(手足厥陰経)への施灸と取穴②				
	第13回	手足の要穴への施灸と取穴①				
	第14回	手足の要穴への施灸と取穴②				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材: 施灸前後の消毒・衛生動作に関する動画を使用する。 参考図書: 『はりきゅう実技<基礎編> 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 『新版 経絡経穴概論 第2版』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習9			教員種別	専任		
				担当教員氏名		濱上 裕基	
授業科目区分	専門分野	実 習			履修学年	1 年	
講義予定時間	金 曜日	13:10	～	14:40	3 時限目	学 期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	あん摩の基本手技(軽擦法、運動法、揉捏法、叩打法、振せん法、圧迫法、曲手)を学習し、効果的な刺激の量を調節できる技術を身に着ける。						
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> あん摩の基本手技ができる。 代表的な骨指標を触れることができる。 伏臥位にてあん摩の基本手技ができる。 						
授 業 計 画	第1回	オリエンテーション(あま指の沿革、手技療法について、あま指に関する法律・制度について)					
	第2回	あま指実技に必要な基礎知識①:解剖学的知識、生理学的知識					
	第3回	あま指実技に必要な基礎知識②:身体触察、骨指標の位置と名称					
	第4回	あん摩の基本手技①:座位での曲手(軽擦法、叩打法)					
	第5回	あん摩の基本手技②:揉捏法(母指揉捏法、二指揉捏法、四指揉捏法)					
	第6回	あん摩の基本手技③:揉捏法(把握揉捏法、手根揉捏法、鋸切状揉捏法、圧迫法、振せん法)					
	第7回	中間試験①(確認テスト:一人ずつ受療にて手技を確認)					
	第8回	中間試験②(確認テスト:一人ずつ受療にて手技を確認)					
	第9回	全身あん摩施術①(伏臥位での頸部・肩甲間部のあん摩)					
	第10回	全身あん摩施術②(伏臥位での腰部、殿部のあん摩)					
	第11回	全身あん摩施術③(伏臥位での殿部・大腿部のあん摩)					
	第12回	全身あん摩施術④(伏臥位での大腿部・下腿部のあん摩)					
	第13回	全身あん摩施術⑤(伏臥位での足部のあん摩)					
	第14回	修了試験の注意点、総復習					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	参考図書:『按摩の理論と実技』鹿児島鍼灸専門学校 編 『あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習10			教員種別	専任		
				担当教員氏名		濱上 裕基	履修学年
授業科目区分	専門分野	実 習			学期	後期	
講義予定時間	木 曜 日	14:50	～	16:20	4 時限目	単位数	1
	一般目標 (GIO)						授業形態
行動目標 (SBOs)							1. 側臥位にてあん摩の基本手技ができる。 2. 仰臥位にてあん摩の基本手技ができる。 3. 基本的な運動法ができる。
授 業 計 画	第1回	オリエンテーション(前期の復習、臨床上の注意点など)					
	第2回	全身あん摩施術①(側臥位での頸部・肩甲間部のあん摩)					
	第3回	全身あん摩施術②(側臥位での上腕～前腕のあん摩)					
	第4回	全身あん摩施術③(側臥位での手、指のあん摩、運動法)					
	第5回	全身あん摩施術④(側臥位での腰部、殿部のあん摩)					
	第6回	全身あん摩施術⑤(側臥位での大腿・下腿のあん摩)					
	第7回	中間テスト①					
	第8回	中間テスト②					
	第9回	全身あん摩施術⑥(仰臥位での前胸部のあん摩)					
	第10回	全身あん摩施術⑦(仰臥位での腹部のあん摩)					
	第11回	全身あん摩施術⑧(仰臥位での腹部のあん摩)					
	第12回	全身あん摩施術⑨(仰臥位での大腿部・下腿部のあん摩)					
	第13回	運動法の基礎①(肩関節・手関節の運動法)					
	第14回	運動法の基礎②(股関節の運動法)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	参考図書:『按摩の理論と実技』鹿児島鍼灸専門学校 編 『あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)』東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習11			教員種別	非常勤	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			谷川 絹	単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	マッサージに関する実際的な知識と技術を習得し、施術を適切に行う能力と態度を育てる。						
行動目標 (SBOs)	①伏臥位における全身のマッサージ基本操作ができるようになる。 ②シンプルな手技を反復練習していく。 ③施術の際、無理な姿勢を取らないようにする。						
授 業 計 画	第1回	マッサージの意義、理論などの復習と手技の確認					
	第2回	マッサージの基本手技の練習					
	第3回	伏臥位 下腿部実技の基本操作①					
	第4回	伏臥位 下肢部実技の基本操作②					
	第5回	伏臥位 大腿部実技の基本操作①					
	第6回	伏臥位 大腿部実技の基本操作②					
	第7回	伏臥位 頸部肩背部実技の基本操作①					
	第8回	伏臥位 頸部肩背部実技の基本操作②					
	第9回	伏臥位 腰部・臀部実技の基本操作①					
	第10回	伏臥位 腰部・臀部実技の基本操作②					
	第11回	伏臥位 下肢全体実技の基本操作①					
	第12回	伏臥位 下肢全体実技の基本操作②					
	第13回	伏臥位 全身実技の基本操作①					
	第14回	伏臥位 全身実技の基本操作②					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	適宜プリントを配付						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	基礎実習12			教員種別	非常勤	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門分野	実 習			谷 川 絹	単位数	1
講義予定時間	火 曜 日	9:00	~	10:30		1 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	仰臥位における全身のマッサージの基本操作ができるようになる。						
行動目標 (SBOs)	①マッサージの基本手技を反復練習する。 ②施術の際、施術者が無理な姿勢をとらないようにする。						
授 業 計 画	第1回	伏臥位の全身マッサージの基本操作①					
	第2回	伏臥位の全身マッサージの基本操作②					
	第3回	仰臥位 下腿部実技の基本操作①					
	第4回	仰臥位 下腿部実技の基本操作②					
	第5回	仰臥位 大腿部実技の基本操作①					
	第6回	仰臥位 大腿部実技の基本操作②					
	第7回	仰臥位 腹部実技の基本操作①					
	第8回	仰臥位 腹部実技の基本操作②					
	第9回	仰臥位 上肢帯実技の基本操作①					
	第10回	仰臥位 上肢帯実技の基本操作②					
	第11回	仰臥位 顔面部実技の基本操作①					
	第12回	仰臥位 顔面部実技の基本操作②					
	第13回	仰臥位 頸部実技の基本操作					
	第14回	仰臥位 下肢全体実技の基本操作					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	適宜プリントを配付						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習1			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			村瀬 健太郎	単位数	1
講義予定時間	月 曜日	13:10	~	14:40		3 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	体幹に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術。						
行動目標 (SBOs)	体幹部の解剖学的な臓器の位置に留意して、安全に刺鍼ができるようになる。						
授 業 計 画	第1回	体幹部の刺鍼 L2、L4					
	第2回	体幹部の刺鍼 L1、T12					
	第3回	体幹部の刺鍼 T11、T10					
	第4回	体幹部の刺鍼 T9、T7					
	第5回	体幹部の刺鍼 T6、T5					
	第6回	体幹部の刺鍼 T4、T3					
	第7回	体幹部の刺鍼 T2、T1					
	第8回	体幹部の刺鍼 肩甲骨					
	第9回	体幹部の刺鍼 肩甲骨					
	第10回	体幹部の刺鍼 肩甲骨外側部					
	第11回	体幹部の刺鍼 肩甲骨外側部					
	第12回	体幹部の刺鍼 肩甲骨上部					
	第13回	体幹部の刺鍼 肩甲骨上部					
	第14回	体幹部の刺鍼 体幹の刺鍼					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	はりきゅう実技(基礎編) 第2版 医道の日本社						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	応用実習2			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	実 習			担 当 教 員 氏 名
	講義予定時間	月 曜日	9:00 ~ 10:30	1 時 限 目	伊 藤 孝 訓
一般目標 (GIO)	上肢に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術を学習する。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できることを目標とする。				
行動目標 (SBOs)	上肢に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術ができるようになる。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	上肢(榮穴)の刺鍼			
	第2回	上肢(輸穴)の刺鍼			
	第3回	上肢(経穴)の刺鍼			
	第4回	上肢(合穴)の刺鍼			
	第5回	上肢(原穴)の刺鍼			
	第6回	上肢(郄穴)の刺鍼			
	第7回	上肢(絡穴)の刺鍼			
	第8回	上肢(榮穴)の施灸			
	第9回	上肢(輸穴)の施灸			
	第10回	上肢(経穴)の施灸			
	第11回	上肢(合穴)の施灸			
	第12回	上肢(原穴)の施灸			
	第13回	上肢(郄穴)の施灸			
	第14回	上肢(絡穴)の施灸			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 配付プリント、PowerPointスライド、新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 参考図書: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社)、解剖学 第2版(医歯薬出版社)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)(医道の日本社) 新版 東洋医学概論、鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法(医道の日本社)、病気がみえる vol.1~vol.11(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習3			教員種別	専任		
				担当教員氏名		履修学年	2 年
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数	1	
講義予定時間	木 曜 日	9:00	~	10:30	1 時限目	伊藤 孝訓	
講義予定時間						授業形態	実習
一般目標 (GIO)	頭頸部に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術を学習する。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	頭頸部に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術ができるようになる。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できるようになる。						
授 業 計 画	第1回	頭頸部(任脈・督脈)の取穴・刺鍼①					
	第2回	頭頸部(任脈・督脈)の取穴・刺鍼②					
	第3回	頭頸部(大腸経)の取穴・刺鍼①					
	第4回	頭頸部(大腸経)の取穴・刺鍼②					
	第5回	頭頸部(胃経)の取穴・刺鍼①					
	第6回	頭頸部(胃経)の取穴・刺鍼②					
	第7回	頭頸部(小腸経)の取穴・刺鍼①					
	第8回	頭頸部(小腸経)の取穴・刺鍼②					
	第9回	頭頸部(膀胱経)の取穴・刺鍼①					
	第10回	頭頸部(膀胱経)の取穴・刺鍼②					
	第11回	頭頸部(三焦経)の取穴・刺鍼①					
	第12回	頭頸部(三焦経)の取穴・刺鍼②					
	第13回	頭頸部(胆経)の取穴・刺鍼①					
	第14回	頭頸部(胆経)の取穴・刺鍼②					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 配付プリント、PowerPointスライド、新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 参考図書: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社)、解剖学 第2版(医歯薬出版社)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)(医道の日本社) 新版 東洋医学概論、鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法(医道の日本社)、病気がみえる vol.1~vol.11(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	応用実習4			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	実 習		担当教員氏名	
	講義予定時間	木 曜 日	10:40 ~ 12:10	2 時限目	伊藤 孝訓
一般目標 (GIO)	下肢に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術を学習する。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できることを目標とする。				
行動目標 (SBOs)	下肢に対する解剖学的知識・経絡経穴を踏まえた施術ができるようになる。 鍼灸臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	下肢(榮穴)の刺鍼			
	第2回	下肢(輸穴)の刺鍼			
	第3回	下肢(経穴)の刺鍼			
	第4回	下肢(合穴)の刺鍼			
	第5回	下肢(原穴)の刺鍼			
	第6回	下肢(郄穴)の刺鍼			
	第7回	下肢(絡穴)の刺鍼			
	第8回	下肢(榮穴)の施灸			
	第9回	下肢(輸穴)の施灸			
	第10回	下肢(経穴)の施灸			
	第11回	下肢(合穴)の施灸			
	第12回	下肢(原穴)の施灸			
	第13回	下肢(郄穴)の施灸			
	第14回	下肢(絡穴)の施灸			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 配付プリント、PowerPointスライド、新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 参考図書: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社)、解剖学 第2版(医歯薬出版社)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)(医道の日本社) 新版 東洋医学概論、鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法(医道の日本社)、病気がみえる vol.1~vol.11(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習5			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			伊藤 孝訓	単位数	1
講義予定時間	木 曜 日	14:50	~	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	あはき臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①医療面接による患者からの情報収集について学び、過不足なく患者の状態を聴取できる。 ②基本的な治療計画の立て方を学び、理解する。 ③各大関節部の基本治療穴を学び、安全かつ正確に施術できる。						
授 業 計 画	第1回	医療面接①(医療面接の基本項目、コミュニケーション技法)					
	第2回	医療面接②(症例を用いた医療面接の練習、症例作成)					
	第3回	医療面接③(症例を用いた医療面接の練習、症例作成)					
	第4回	医療面接④(症例を用いた医療面接の練習、症例作成)					
	第5回	治療計画の立て方					
	第6回	腰部の治療穴					
	第7回	腰下肢痛の治療					
	第8回	腰痛・腰下肢痛の治療					
	第9回	膝関節痛の治療					
	第10回	足関節痛の治療					
	第11回	膝通・足関節痛の治療					
	第12回	肩関節痛の治療					
	第13回	頸肩部痛の治療					
	第14回	関節痛の治療					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 配付プリント、PowerPointスライド、新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 参考図書: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社)、解剖学 第2版(医歯薬出版社)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)(医道の日本社) 新版 東洋医学概論、鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法(医道の日本社)、病気がみえる vol.1~vol.11(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習6			教員種別	専任		
				担当教員氏名		履修学年	3 年
授業科目区分	専門分野	実 習			単位数	1	
講義予定時間	月 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	授業形態	実習
一般目標 (GIO)	鍼灸応用技術を深め、東洋医学臨床論や実際に遭遇することの多い症例から施術を学習する。						
行動目標 (SBOs)	①医療面接により、相手から情報を得ることができるようにする。 ②医療面接から必要な検査を選択し、実践できるようにする。 ③病態を把握し、病態に則した治療計画を立てることができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	運動器疾患の鍼灸治療①					
	第2回	運動器疾患の鍼灸治療②					
	第3回	運動器疾患の鍼灸治療③					
	第4回	運動器疾患の鍼灸治療④					
	第5回	運動器疾患の鍼灸治療⑤					
	第6回	臓腑と関連する症候 肝系統					
	第7回	臓腑と関連する症候 心系統					
	第8回	臓腑と関連する症候 脾系統①					
	第9回	臓腑と関連する症候 脾系統②					
	第10回	臓腑と関連する症候 脾系統③					
	第11回	臓腑と関連する症候 肺系統					
	第12回	臓腑と関連する症候 腎系統					
	第13回	全身の症候					
	第14回	復習					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:新版東洋医学臨床論(はりきゆう編)(南江堂)、鍼灸医学(南山堂)、経穴学、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	臨床実習前実技評価試験①			教員種別	専任	履修学年	1 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野	単位数	1※
講義予定時間	曜日	～	時限目			授業形態	実習
一般目標 (GIO)	1年生の各実習で修得した基本的な技術を総合的に評価する。						
行動目標 (SBOs)	①指示された角度、深さを守り、スムーズかつ正確に刺鍼ができる。 ②指示された艾炷の大きさ、形、壮数を守り、スムーズかつ正確に施灸ができる。 ③座位の患者を想定し、指示された手技を守り、安全かつ正確に施術できる。						
授 業 計 画	第1回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験①					
	第2回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験②					
	第3回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験③					
	第4回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験④					
使用教材・参考図書	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準						
成績評価の方法	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準に基づき、試験要項を定め実技試験を実施する。						
合格基準	各実技試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。はり・きゅう・あん摩の実技試験の平均を当科目の成績とし、最終的に臨床実習前実技評価試験②の内容と合わせて総合的に判断する。※臨床実習前実技評価試験は①・②・③・④全ての合格をもって1単位となる。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習前実技評価試験②			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門分野	実 習			学期
講義予定時間	月 曜日	14:50	～	16:20	4 時限目
一般目標 (GIO)	1年生の各実習で修得した基本的な技術を総合的に評価する。				
行動目標 (SBOs)	①下腿前面の経穴に指示された角度、深さを守り、スムーズかつ正確に刺鍼ができる。 ②踵部の経穴に指示された艾炷の大きさ、形、壮数を守り、スムーズかつ正確に施灸ができる。 ③側臥位の患者を想定し、指示された手技を守り、安全かつ正確に施術できる。				
授 業 計 画	第1回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験①			
	第2回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験②			
	第3回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験③			
	第4回	はり実技・きゅう実技・あん摩実技の実技試験④			
使用教材・参考図書	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準				
成績評価の方法	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準に基づき、試験要項を定め実技試験を実施する。				
合格基準	各実技試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。はり・きゅう・あん摩の実技試験の平均を当科目の成績とし、最終的に臨床実習前実技評価試験②の内容と合わせて総合的に判断する。※臨床実習前実技評価試験は①・②・③・④全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床実習前実技評価試験③			教員種別	専任	履修学年	2 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	実 習			村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野	単位数	1※
講義予定時間	曜日	～	時限目			授業形態	実習
一般目標 (GIO)	2年生の各実習で修得した基本的な技術を総合的に評価する。						
行動目標 (SBOs)	①腰部、下腿後面の経穴に指示された角度、深さを守り、スムーズかつ正確に刺鍼ができる。 ②踵部の経穴に指示された艾炷の大きさ、形、壮数を守り、スムーズかつ正確に施灸ができる。 ③伏臥位の患者を想定し、患者の下腿から足部の後面にかけて指示された手技を守り、安全かつ正確に施術できる。						
授 業 計 画	第1回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験①					
	第2回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験②					
	第3回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験③					
	第4回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験④					
	第5回						
	第6回						
	第7回						
	第8回						
	第9回						
	第10回						
	第11回						
	第12回						
	第13回						
	第14回						
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準						
成績評価の方法	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準に基づき、試験要項を定め実技試験を実施する。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。修了試験では、60点以上「可」を合格とする。※臨床実習前実技評価試験は①・②・③・④全ての合格をもって1単位となる。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習前実技評価試験④			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	実 習		担当教員氏名	学 期
	講義予定時間	曜日	～	時限目	後期
一般目標 (GIO)	2年生の各実習で修得した基本的な技術を総合的に評価する。				
行動目標 (SBOs)	①腰部、下腿後面の経穴に指示された角度、深さを守り、スムーズかつ正確に刺鍼ができる。 ②踵部の経穴に指示された艾炷の大きさ、形、壮数を守り、スムーズかつ正確に施灸ができる。 ③座位の患者を想定し、指示された手技を守り、患者の前腕部に安全かつ正確に施術できる。				
授 業 計 画	第1回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験①			
	第2回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験②			
	第3回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験③			
	第4回	はり実技・きゅう実技・マッサージ実技の実技試験④			
使用教材・参考図書	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準				
成績評価の方法	2023年度版 東洋療法学校協会 実技評価試験基準に基づき、試験要項を定め実技試験を実施する。				
合格基準	各実技試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。はり・きゅう・あん摩の実技試験の平均を当科目の成績とし、最終的に臨床実習前実技評価試験②の内容と合わせて総合的に判断する。※臨床実習前実技評価試験は①・②・③・④全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習1-①			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	水 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①施術所内での流れや業務内容を把握する。 ②患者とコミュニケーションを図ることができるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習1は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習1-②			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	金 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①施術所内での流れや業務内容を把握する。 ②患者とコミュニケーションを図ることができるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習1は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習1-③			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	木 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①施術所内での流れや業務内容を把握する。 ②患者とコミュニケーションを図ることができるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書	使用教材:資料(Word)を配布する。 参考図書:『診察と手技がみえる vol.1 第2版』医療情報科学研究所 編(メディックメディア) 解剖生理学 東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編)(医道の日本社)				
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習1は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習2-①			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	水 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①現代医学的な医療面接の意義や方法を理解し、実践できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習2は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習2-②			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	金 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①現代医学的な医療面接の意義や方法を理解し、実践できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習2は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習2-③			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	木 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①現代医学的な医療面接の意義や方法を理解し、実践できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書	使用教材:資料(Word)を配布する。 参考図書:『診察と手技がみえる vol.1 第2版』医療情報科学研究所 編(メディックメディア) 解剖生理学 東洋療法学校協会 編(医歯薬出版株式会社) 新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)(南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編)(医道の日本社)				
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習2は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習3-①			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	水 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習3は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習3-②			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習			学期
	講義予定時間	金 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	前期
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習3は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習3-③			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習			担当教員氏名
	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野				学 期
講義予定時間	月 曜日	9:00	~	16:20	単位数
				時限目	授業形態
					実習
一般目標 (GIO)	附属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習3は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習4-①			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習			学期
	講義予定時間	水 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	後期
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握し、治療方針を立て治療法を導きだせるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習4は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習4-②			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	金 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握し、治療方針を立て治療法を導きだせるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習4は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床実習4-③			教員種別	専任
				履修学年	
授業科目区分	専門分野	臨床実習		担当教員氏名	
	講義予定時間	月 曜日	9:00 ~ 16:20	時限目	久木田・村瀬・溝口・伊藤・濱上・中野
一般目標 (GIO)	所属はりきゅう施術所にて教員または施術所スタッフの臨床を見学・施術補助を行いながら、あはき師として必要な基本的臨床能力を身に付けるために必要な知識と技術への理解を深めるとともに、基本的態度や姿勢を修得する。				
行動目標 (SBOs)	①医療面接、検査所見などから現代医学的に病態を把握し、治療方針を立て治療法を導きだせるようになる。				
授 業 計 画	第1回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第2回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第3回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第4回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第5回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第6回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第7回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第8回	施術見学、医療面接、徒手検査、症例検討、清掃			
	第9回				
	第10回				
	第11回				
	第12回				
	第13回				
	第14回				
	第15回				
使用教材・参考図書					
成績評価の方法	実習への参加と実習レポートの提出(※実習参加日の翌出校日までを提出期限とする)にて評価する。ただし、実施された授業時数の10分の9以上参加していない場合、単位は認められない。				
合格基準	最終評価において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とし、60点以上「可」を合格とする。 ※臨床実習4は①・②・③全ての合格をもって1単位となる。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	東洋医学総論1			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門分野	総合領域			伊藤 孝訓
講義予定時間	月 曜日	13:10	~	14:40	3 時限目
					単位数
一般目標 (GIO)	東洋医学の起源を知ること、物事のとらえ方、考え方の特徴を理解することを目標とする。				
行動目標 (SBOs)	①陰陽、五行、気血津液、神における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。 ②陰陽、五行、気血津液、神における考え方を理解することができる。				
授 業 計 画	第1回	授業ガイダンス、東洋医学の沿革(※東洋医学概論1と並行して授業を実施する。)			
	第2回	東洋医学的な人体の見方			
	第3回	陰陽論・五行論の考え方とその応用			
	第4回	陰陽論・五行論の考え方とその応用			
	第5回	生体物質(気・血・津液・精)と神			
	第6回	気の生理			
	第7回	血の生理			
	第8回	津液の生理			
	第9回	気の病理			
	第10回	血の病理			
	第11回	津液の病理			
	第12回	神の生理と病理			
	第13回	陰陽の生理			
	第14回	陰陽の病理			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学〈基礎編〉(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科		鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	あはき史学			教員種別	専任	
				担当教員氏名		中野 信盛
授業科目区分	専門分野	総合領域			履修学年	2 年
講義予定時間	曜日	～	時限目	単位数	1	
					授業形態	講義
一般目標 (GIO)	欧米、中国、日本における医療、鍼灸、あま指の歴史、医学史と理論の変遷について学習する。					
行動目標 (SBOs)	①医学史における各時代の主要な文献と著者を挙げる。 ②中国・日本における主要な古典文献を挙げる。 ③基礎的な文献・医学用語が理解できる。					
授 業 計 画	第1回	医学史を学ぶ意義(総論・医学史について・医学用語について)				
	第2回	医学の誕生①(世界三大医学について)				
	第3回	医学の誕生②(現代医療・現代医学の源流)				
	第4回	古代文明と様々な伝統医療①(メソポタミア文明・エジプト文明)				
	第5回	古代文明と様々な伝統医療②(インド文明・中国文明)				
	第6回	古代ギリシャの医学(WHO・ヒポクラテス・ユナニ医学)				
	第7回	医学の歴史と医学用語(医学書の翻訳の歴史・中国の伝統医学書について)				
	第8回	扁鵲伝説(中国古代の医学)				
	第9回	『馬王堆』から出土した医学書				
	第10回	漢方の成立①(漢方の三大古典について・神農本草經・黄帝内經・張仲景方について)				
	第11回	漢方の成立②(漢方の三大古典について傷寒論・傷寒雜病論・金匱要略について)				
	第12回	日本の伝統医療①(日本における鍼灸の成立)				
	第13回	日本の伝統医療②(日本に伝播した中国伝統医療)				
	第14回	近代日本鍼灸について(日本近世の鍼灸の様相)				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	使用教材: 適宜プリントを配布 参考図書: 薬事日報社『基礎からの漢方薬』 ちくま新書『医学全史』 講談社『医学の歴史』					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	鍼灸治効理論			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門分野	総合領域			学期
講義予定時間	火 曜 日	9:00	~	10:30	1 時限目
一般目標 (GIO)	鍼灸の治効理論について学び、鍼灸刺激が生体に及ぼす影響を考察する。				
行動目標 (SBOs)	身体に起こる反応を理論をもとに説明できるようになる。				
授 業 計 画	第1回	オリエンテーション レポートの提出方法			
	第2回	実習機器の使い方 実習方法			
	第3回	伸張反射			
	第4回	H波とM波			
	第5回	伝導速度			
	第6回	潜時			
	第7回	運動単位			
	第8回	サイズの原理			
	第9回	不応期			
	第10回	自原抑制 (I b抑制)			
	第11回	拮抗抑制			
	第12回	$\alpha - \gamma$ 連関			
	第13回	反回抑制			
	第14回	口頭試問			
	第15回	レポート提出・口頭試問			
使用教材・参考図書	解剖生理 (医歯薬出版株式会社)、はりきゅう理論 第3版 (医道の日本)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床医学各論5			教員種別	専任		
				担当教員氏名		溝口 弘敏	
授業科目区分	専門分野	総合領域			履修学年	2 年	
講義予定時間	金 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目	学 期	前期
						単位数	1
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。					授業形態	講義
行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げることができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げることができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	脳血栓、脳塞栓					
	第2回	一過性脳虚血発作、脳出血、クモ膜下出血					
	第3回	ウイルス性髄膜炎、細菌性髄膜炎、結核性髄膜炎、真菌性髄膜炎、神経梅毒					
	第4回	ポリオ、神経膠腫					
	第5回	髄膜腫、下垂体腺腫、神経鞘腫					
	第6回	転移性脳腫瘍、脊髄腫瘍、パーキンソン病					
	第7回	脳性小児麻痺、ウィルソン病(肝レンズ核変性症)					
	第8回	脊髄小脳変性症、脊髄空洞症、進行性核上性麻痺					
	第9回	認知症(痴呆症)、アルツハイマー病、脳血管型認知症、ピック病、一般身体疾患に伴う認知症					
	第10回	重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症、					
	第11回	ギランバレー症候群、橈骨神経麻痺、正中神経麻痺、尺骨神経麻痺					
	第12回	総腓骨神経麻痺、脛骨神経麻痺、末梢性顔面神経麻痺、ラムゼーハント症候群					
	第13回	三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛					
	第14回	後頭神経痛、緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床医学各論6			教員種別	専任		
				担当教員氏名		溝口 弘敏	
授業科目区分	専門分野	総合領域			履修学年	2 年	
講義予定時間	水 曜日	10:40	～	12:10	2 時限目	学期	後期
						単位数	1
講義形態						授業形態	講義
一般目標 (GIO)	西洋医学の観点から臨床医学について学び、医療の基本を身につける。その中でも、鍼灸臨床で特に注意が必要な疾患・頻繁に対応する疾患に取り組み、現代医学的考察を深める。						
行動目標 (SBOs)	①生理学・解剖学で学んだ知識を用いて各疾患の病態生理を理解する。 ②疾患毎の好発者、代表的な症状、必要な検査および検査所見を挙げるができるようにする。 ③疾患に関連する先行疾患や続発症を挙げるができるようにする。						
授 業 計 画	第1回	第10章 血液・造血器疾患(赤血球疾患)					
	第2回	第10章 血液・造血器疾患(白血球疾患)					
	第3回	第10章 血液・造血器疾患(リンパ網内系疾患、出血性素因)					
	第4回	第11章 リウマチ性疾患・膠原病(関節リウマチ)					
	第5回	第11章 リウマチ性疾患・膠原病(全身性エリテマトーデス、全身性強皮症)					
	第6回	第11章 リウマチ性疾患・膠原病(ベーチェット病、多発性筋炎・皮膚筋炎)					
	第7回	第11章 リウマチ性疾患・膠原病(多発動脈炎、食物アレルギー、血清病)					
	第8回	第1章 感染症(総論)					
	第9回	第1章 感染症(細菌感染症①)					
	第10回	第1章 感染症(細菌感染症②)					
	第11回	第1章 感染症(ウイルス感染症①)					
	第12回	第1章 感染症(ウイルス感染症②)					
	第13回	第1章 感染症(性感染症①)					
	第14回	第1章 感染症(性感染症②)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:臨床医学各論 第2版(医歯薬出版株式会社)、配付プリント、プロジェクター 参考図書:病気がみえるシリーズ(メディックメディア)、内科診断学 第3版(医学書院)、ルービン病理学(西村書店) ビジュアルノート(メディックメディア)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	リスクマネジメント			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	総合領域			伊藤 孝訓	単位数	1
講義予定時間	火 曜日	14:50	～	16:20		4 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	鍼灸臨床におけるリスクを把握し、臨床の現場で起こる様々な問題に対処できるようになることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 鍼灸臨床における標準予防策が理解でき、実践できる。 鍼灸医療事故の原因やリスクが理解でき、必要な対策を講じることができる。 鍼灸施術における内臓損傷の事例を理解でき、必要な対策を講じることができる。 						
授 業 計 画	第1回	授業ガイダンス(講義内容の確認、評価方法の説明など)、有害事象、ガイドラインについて					
	第2回	病原体(細菌とウイルスの違い)について、鍼灸臨床に関する感染症					
	第3回	医療における感染予防(標準予防策/スタンダード・プリコーション)の概要					
	第4回	鍼灸臨床における標準予防策①(手指衛生・手洗い・感染防止のための個人防護具・呼吸衛生・咳エチケット)					
	第5回	鍼灸臨床における標準予防策②(施術野の消毒・消毒液に関する基礎知識とその適応範囲)					
	第6回	鍼灸臨床における標準予防策③(施術前後の消毒・クリーン・ニードル・テクニック:CNT)					
	第7回	施術器具の衛生的な取り扱い①(洗浄・消毒・滅菌・除菌・抗菌の違いと適応範囲)					
	第8回	施術器具の衛生的な取り扱い②(スποルディング分類、洗浄剤の種類と滅菌の種類)					
	第9回	施術器具の衛生的な取り扱い③(高圧蒸気滅菌器の取り扱い、滅菌バリデーション)					
	第10回	鍼灸医療事故と有害防止対策①(ヒューマン・エラー、アクシデント・インシデントレポート)					
	第11回	鍼灸医療事故と有害防止対策②(医療面接におけるインフォームド・コンセント、個人情報保護法)					
	第12回	鍼灸医療事故と有害防止対策③(カルテの意義と管理について、鍼灸医療の訴訟と判例)					
	第13回	重要臓器の傷害事故の防止(内臓、末梢神経、血管の損傷)					
	第14回	鍼灸治療の禁忌と注意すべき病態					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書:『鍼灸安全対策ガイドライン(2020年版)』(公社)全日本鍼灸学会 学術部安全性委員会:編 『鍼灸医療安全ガイドライン』医歯薬出版株式会社						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習7			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	前期
授業科目区分	専門分野	総合領域			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	金 曜日	10:40	~	12:10		2 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	あん摩・マッサージとの違いを明確にし、それぞれ使い分けができる。						
行動目標 (SBOs)	①指圧の3原則を理解し、実際に行うことができる。 ②伏臥位にて、指圧の基本手技(手圧、母指圧)ができる。 ③患者・施術者に負担の少ない、押圧操作ができる。						
授 業 計 画 画	第1回	授業ガイダンス(あま指の手技の相違点とそれぞれの沿革、指圧の基本操作と適応となる症状)					
	第2回	伏臥位にて背部の指圧①(脊柱検査、掌圧の基本手技)					
	第3回	伏臥位にて背部の指圧②(押圧時の姿勢と注意点)					
	第4回	伏臥位にて背部の指圧③(一側線の母指圧)					
	第5回	伏臥位にて背部の指圧④(二側線の母指圧)					
	第6回	伏臥位にて背部の指圧⑤(三側線の母指圧)					
	第7回	伏臥位にて殿部の指圧①(中殿筋付着部の母指圧)、中間試験					
	第8回	伏臥位にて殿部の指圧②(仙骨部の母指圧)、中間試験					
	第9回	伏臥位にて大腿後面の指圧(重ね母指圧)、中間試験					
	第10回	伏臥位にて下腿後面の指圧(把握圧)					
	第11回	伏臥位にて足底部の指圧(重ね母指圧)					
	第12回	これまでの復習①(30分でこれまでの手技の流れを確認)					
	第13回	これまでの復習②(各手技の細かな注意点を確認)					
	第14回	これまでの復習③(押圧時の姿勢を確認)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:プリントを配付 参考図書:『よくわかる指圧テクニック』岡本雅典 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	応用実習8			教員種別	専任		
				担当教員氏名		濱上 裕基	
履修学年	3 年			学期	後期		
授業科目区分	専門分野	総合領域			単位数	1	
講義予定時間	木 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目	授業形態	実習
一般目標 (GIO)	あはき臨床における実際の治療を想定し確かな治療能力を養い実践できることを目標とする。						
行動目標 (SBOs)	①指圧の3原則を理解し、実際に行うことができる。 ②仰臥位と側臥位にて、指圧の基本手技(手圧、母指圧)ができる。 ③患者・施術者に負担の少ない、押圧操作ができる。						
授 業 計 画	第1回	授業ガイダンス(前期の復習、押圧時の姿勢の確認など)					
	第2回	仰臥位にて下肢の指圧①(押圧時の姿勢と注意点)					
	第3回	仰臥位にて下肢の指圧②(大腿・下腿・足部の押圧)					
	第4回	仰臥位にて上肢の指圧①(押圧時の姿勢と注意点)					
	第5回	仰臥位にて上肢の指圧②(上腕・前腕・手部の押圧)					
	第6回	仰臥位にて前胸部の指圧(烏口突起周囲、鎖骨下部・肋間の押圧)					
	第7回	これまでの流れの復習(臨床上の注意点など)					
	第8回	中間試験					
	第9回	側臥位にて肩甲骨周囲の指圧①(押圧時の姿勢と注意点)					
	第10回	側臥位にて肩甲骨周囲の指圧②(肩甲骨上角から下角の押圧)					
	第11回	側臥位にて背部・殿部の指圧①(押圧時の姿勢と注意点)					
	第12回	側臥位にて背部・殿部の指圧②(背部三側線、殿部外側の押圧)					
	第13回	側臥位にて大腿部・下腿部の指圧①(押圧時の姿勢と注意点)					
	第14回	側臥位にて大腿部・下腿部の指圧②(大腿外側から下腿外側の押圧)					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材:プリントを配付 参考図書:『よくわかる指圧テクニック』岡本雅典 (医道の日本社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科				
授業科目	臨床技術学習1			教員種別	専任
				担当教員氏名	
授業科目区分	専門分野	総合領域			学期
講義予定時間	月 曜日	9:00	~	10:30	1 時限目
一般目標 (GIO)	臨床で遭遇しやすい症候・疾病に対して、東洋医学と現代医学を総合した鍼灸治療の実際を学習することに重点を置く。				
行動目標 (SBOs)	臨床で遭遇しやすい症候・疾病に対して、東洋医学と現代医学を総合した鍼灸治療ができるようになる。				
授 業 計 画	第1回	肩こりに対する鍼灸治療①			
	第2回	肩こりに対する鍼灸治療②			
	第3回	上肢痛に対する鍼灸治療①			
	第4回	上肢痛に対する鍼灸治療②			
	第5回	頸肩部痛に対する鍼灸治療①			
	第6回	頸肩部痛に対する鍼灸治療②			
	第7回	肩関節痛に対する鍼灸治療①			
	第8回	肩関節痛に対する鍼灸治療②			
	第9回	腰背部痛に対する鍼灸治療①			
	第10回	腰背部痛に対する鍼灸治療②			
	第11回	膝痛に対する鍼灸治療①			
	第12回	膝痛に対する鍼灸治療②			
	第13回	下肢痛に対する鍼灸治療①			
	第14回	下肢痛に対する鍼灸治療②			
	第15回	修了試験			
使用教材・参考図書	使用教材: 配付プリント、PowerPointスライド、新版 経絡経穴概論(医道の日本社) 参考図書: 臨床医学各論 第2版(医歯薬出版社)、解剖学 第2版(医歯薬出版社)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)(医道の日本社) 新版 東洋医学概論、鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法(医道の日本社)、病気がみえる vol.1~vol.11(メディックメディア)				
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。				
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。				

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	臨床技術学習2			教員種別	専任	履修学年	3 年
				担当教員氏名		学 期	後期
授業科目区分	専門分野	総合領域			濱上 裕基	単位数	1
講義予定時間	金 曜日	9:00	～	10:30		2 時限目	授業形態
一般目標 (GIO)	鍼灸臨床における実際の治療法を想定し、今までに学習してきた知識・技術をさらに深める。						
行動目標 (SBOs)	①医療面接から検査、病態把握、治療方法の立案、インフォームド・コンセント、治療、カルテ記載に至る治療の一連の流れを理解し実践できる。 ②鍼通電療法・火鍼について学び、臨床における応用力を身に着ける。 ③臨床上遭遇しやすい症候・疾病に対して、東洋医学と現代医学を総合した鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療ができるようになる。						
授 業 計 画	第1回	慢性疼痛に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療①					
	第2回	慢性疼痛に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療②					
	第3回	うつ病に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療					
	第4回	喘息に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療					
	第5回	自律神経失調症に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療					
	第6回	頻尿に対する鍼・灸・あん摩マッサージ指圧治療					
	第7回	第1回から第6回までの復習					
	第8回	火鍼を用いた治療①(火鍼の適応と刺鍼法)					
	第9回	火鍼を用いた治療②(刺鍼の練習)					
	第10回	カルテの書き方①(カルテの意義、カルテに記載する項目)					
	第11回	カルテの書き方②(症例を用いた医療面接とカルテ記載)					
	第12回	カルテの書き方③(症例を用いた医療面接とカルテ記載)					
	第13回	医療面接、徒手検査、病態把握、治療計画の立案、インフォームド・コンセント、施術、カルテ記載①					
	第14回	医療面接、徒手検査、病態把握、治療計画の立案、インフォームド・コンセント、施術、カルテ記載②					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 資料(PowerPoint)を配布する。 参考図書: 新版 東洋医学臨床論(はりきゆう編) (南江堂) 東洋医学臨床論(あん摩マッサージ指圧編) (医道の日本社) 『診察と手技がみえる vol.1 第2版』 医療情報科学研究所 編 (メディックメディア) 『「型」が身につくカルテの書き方』 佐藤 健太 著 (医学書院) 『運動器疾患の治療 整形外科・現代鍼灸・伝統鍼灸』 平沢泰介ら 編 (医歯薬出版株式会社) 『図解鍼灸臨床手技マニュアル 第2班』 尾崎 昭弘 著 (医歯薬出版株式会社) 『火鍼マニュアル』 浅野 周 著 (三和書籍)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和6年(2024年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科						
授業科目	東洋医学総論2			教員種別	専任		
				担当教員氏名		伊藤 孝訓	
授業科目区分	特別授業	特別授業			履修学年	1 年	
講義予定時間	火 曜 日	9:00	~	10:30	1 時限目	後期	
						単位数	1
一般目標 (GIO)	東洋医学的な整体観の物事のとらえ方、考え方の特徴を理解することを目標とする。 東洋医学的にみた心身の正常機能の成り立ちを理解する。					授業形態	講義
行動目標 (SBOs)	①五臓六腑における東洋医学の用語、名称を挙げることができる。 ②五臓六腑における生理と病理を理解することができる。 ③東洋医学的な病機、病証について理解することができる。						
授 業 計 画	第1回	蔵象学説(※東洋医学概論2と並行して授業を実施する。)					
	第2回	肝の生理と病理・関連のある奇恒の腑					
	第3回	心の生理と病理・関連のある奇恒の腑					
	第4回	脾の生理と病理・関連のある奇恒の腑					
	第5回	肺の生理と病理・関連のある奇恒の腑					
	第6回	腎の生理と病理・関連のある奇恒の腑					
	第7回	六腑の生理と病理					
	第8回	肝・心の病証					
	第9回	脾・肺の病証					
	第10回	腎・六腑の病証					
	第11回	心・脾・肝の相互関係、心・肺・脾の相互関係、肺・脾・腎の相互関係					
	第12回	脾・肝・腎の相互関係、肺・脾・肝の相互関係、心・脾・腎の相互関係					
	第13回	六腑の協調関係、全身の気機					
	第14回	経絡・病因・病機					
	第15回	修了試験					
使用教材・参考図書	使用教材: 新版 東洋医学概論 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社) 参考図書: 図説東洋医学(基礎編)(学研パブリッシング)、中医学の基礎(東洋学術出版社) 中医国際教育教科書シリーズ 中医基礎理論、鍼灸学、中医内科学、中医診断学(上海科学技術出版社)						
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。						
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70~79点を「良」、60~69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。						

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和5年(2023年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科					
授業科目	伝統経穴学			教員種別	専任	
				担当教員氏名		履修学年
授業科目区分	特別授業	特別授業		久木田 和隆	学 期	後期
講義予定時間	月 曜日	9:00 ~ 10:30	1 時限目		単位数	1
一般目標 (GIO)	鍼灸甲乙経を底本とした経絡の流れ、成り立ち、役割を理解し、各経穴の特性・主治・部位を把握することを目的とする。					
行動目標 (SBOs)	①各経に所属する主な経穴の取穴部位について述べるができる。 ②主要な経穴の主治について述べるができる。					
授 業 計 画	第1回	概論(経穴とは? 文献の相違とその理由など)				
	第2回	督脈				
	第3回	任脈				
	第4回	肺経、大腸経				
	第5回	胃経				
	第6回	脾経				
	第7回	心経、小腸経				
	第8回	膀胱経①				
	第9回	膀胱経②				
	第10回	腎経				
	第11回	心包経、三焦経				
	第12回	胆経				
	第13回	肝経、その他(奇穴)				
	第14回	これまでのまとめ				
	第15回	修了試験				
使用教材・参考図書	経穴学(鹿児島鍼灸専門学校)					
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。					
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。					

令和6年(2024年)度 授業計画書

鹿児島鍼灸専門学校 令和4年(2022年)度入学生

学 科	鍼灸あん摩マッサージ指圧学科							
授業科目	トレーニング学			教員種別	専任	履修学年	3 年	
				担当教員氏名		学 期	後期	
授業科目区分	特別授業	特別授業			伊藤 孝訓	単位数	1	
講義予定時間	曜日	～	時限目	授業形態		講義		
一般目標 (GIO)	トレーニングについての理論や技術を学び、理解し行動できることを目標とする。							
行動目標 (SBOs)	①トレーニング理論とプログラムを説明することができる。 ②実際にトレーニングの実技と指導を行うことができる。							
授 業 計 画	第1回	トレーニング指導者論 トレーニング指導者の役割						
	第2回	トレーニング指導者論 トレーニング指導者の実務						
	第3回	測定と評価 トレーニング効果の測定と評価						
	第4回	測定と評価 測定データの分析とデータの活用法						
	第5回	トレーニング理論とプログラム 長期的トレーニング計画						
	第6回	トレーニング理論とプログラム レジスタンストレーニング						
	第7回	トレーニング理論とプログラム パワートレーニング						
	第8回	トレーニング理論とプログラム 持久カトレーニング						
	第9回	トレーニング理論とプログラム スピードトレーニング						
	第10回	トレーニング理論とプログラム 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー						
	第11回	トレーニング理論とプログラム 特別な対象のためのトレーニングとプログラム						
	第12回	トレーニング理論とプログラム 生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム						
	第13回	トレーニングの実技と指導法 レジスタンストレーニングの実技と指導法 (実習)						
	第14回	トレーニングの実技と指導法 パワートレーニングの実技と指導法 (実習)						
	第15回	トレーニングの実技と指導法 持久カトレーニングの実技と指導法 (実習)						
	第16回	トレーニングの実技と指導法 スピードトレーニングの実技と指導法 (実習)						
	第17回	トレーニングの実技と指導法 ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法(実習)						
	第18回	修了試験						
使用教材・参考図書	使用教材:トレーニング指導者テキスト理論編 3 訂版、トレーニング指導者テキスト 実践編 3 訂版、トレーニング指導者テキスト実技編(NPO法人日本トレーニング指導者協会著) 参考図書:トレーニング指導者認定試験模擬問題集 3 訂版、一般科目ワークノート 3 訂版、専門科目ワークノート 3 訂版(NPO法人日本トレーニング指導者協会 資格認定委員会著)							
成績評価の方法	最終時間に修了試験を実施する。但し、臨時試験、中間試験を実施することがある。 また、課題提出状況や出席状況なども考慮し総合的に判定する。 修了試験は、所定の授業時間数の3分の2以上を出席したものでなければ、受験することができない。							
合格基準	修了試験において80点以上を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、60点未満を「不可」とする。 修了試験では、60点以上「可」を合格とする。							